令和７年度　社会福祉法人清風会
事 業 報 告 書

社会福祉法人　清 風 会

目次

1　評議員会の開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
2　理事会の開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
3　法人監事による監査の実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
4　評議員選任・解任委員会の開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・4
5　地域密着型ユニット型特養運営推進会議の開催状況・・・・・・・・4
6　苦情解決第三者委員への苦情受付報告状況・・・・・・・・・・・・6
7　規程等の制定、改定状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
8　職員の施設別・職種別構成等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
9　職員の採用・退職等の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
10　職員の休暇等取得状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
11　職員外部研修派遣状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
12　資格取得支援制度による支援適用状況・・・・・・・・・・・・・・11
13　特別養護老人ホームあいぜんの里の事業報告
（1）特別養護老人ホームあいぜんの里（長期）の運営状況・・・・ 12
（2）特別養護老人ホームあいぜんの里（短期）の運営状況・・・・ 13
（3）特別養護老人ホームあいぜんの里実践内容実施報告書・・・・ 14
（4）行事、活動実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
（5）事業所内研修会、事業所内会議開催状況・・・・・・・・・・・ 17
14　ユニット型特別養護老人ホームあいぜんの里の事業報告
（1）ユニット型特別養護老人ホームあいぜんの里の運営状況・・・ 18
（2）ユニット型特別養護老人ホームあいぜんの里実践内容
実施報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
（3）行事、活動実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
（4）事業所内研修会、事業所内会議開催状況・・・・・・・・・・・ 23
15　あいぜんの里デイサービスセンターの事業報告
（1）あいぜんの里デイサービスセンターの運営状況・・・・・・・・ 25
（2）あいぜんの里デイサービスセンター実践内容実施報告書・・・ 26
（3）行事、活動実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
（4）事業所内研修会、事業所内会議開催状況・・・・・・・・・・・ 27
16　あいぜんの里居宅介護支援事業所・在宅介護支援センターの事業報告
（1）　居宅介護支援事業所運営状況・・・・・・・・・・・・・・・・28
（2）　在宅介護支援センター運営状況、地域支援の取り組み・・・・29

（3）居宅介護事業所・在宅介護支援センター実践内容実施

報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
（4）事業所内研修会、事業所内会議開催状況・・・・・・・・・・・ 34
17　各種委員会の活動報告
（1）安全衛生委員会活動報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
（2）研修委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
（3）広報委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42
（4）感染症対策委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 43
（5）安全対策委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45
（6）高齢者虐待防止検討委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47
（7）身体拘束廃止委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49
（8）栄養管理委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 50
（9）防災･車両の安全運行委員会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 51

1　評議員会の開催状況

○第１回

日　　時　　令和７年６月１３日(金)午後５時３０分
場　　所　　特別養護老人ホームあいぜんの里　地域交流ホール
出 席 者　　評議員８名(欠席２名)　理事２名　監事１名
議　　題　　①経過報告
②令和６年度計算書類及び財産目録の承認について
③理事、監事の選任について
④役員等の報酬並びに費用弁償に関する規定の改正について
④令和６年度事業報告について
⑤その他

○第２回

日　　時　　令和７年９月19日(金)午後６時30分
場　　所　　特別養護老人ホームあいぜんの里　地域交流ホール
出 席 者　　評議員９名(欠席１名)　理事２名　監事１名
議　　題　　①経過報告
②補欠理事の選任について
③その他

2　理事会の開催状況

○第１回

日　　時　　令和７年５月２３日(金) 午後６時30分
場　　所　　特別養護老人ホームあいぜんの里　地域交流ホール
出 席 者　　理事８名（欠席１名)、監事２名
議　　題　　①経過報告
②令和６年度事業報告並びに令和６年度計算関係書類及び財産目録の承認について
③評議員選任・解任委員会の選任について
④令和７年度定時評議員会の開催について
⑤理事長の職務執行状況について
⑥その他

○第２回

日　　時　　令和７年６月１３日（金）午後７時１０分

場　　所　　特別養護老人ホームあいぜんの里　地域交流ホール

出 席 者　　理事９名、監事１名

議　　題　　①経過報告

②経営改善計画について

③令和７年度第１回評議員会の開催結果について

④理事長の選任について

⑤その他

○第３回

日　　時　　令和７年８月２９日(金)

理事９名、監事２名

議　　題　　①重要な人事について

②補欠理事候補者の推薦（案）について

③令和７年度第１次資金収支補正予算（案）について

④令和７年第２回評議委員会の開催について

⑤その他

○第４回

日　　時　　令和７年１１月 28 日(金) 午後６時 30 分

場　　所　　特別養護老人ホームあいぜんの里　地域交流ホール

出 席 者　　理事８名（欠席１名)、監事２名

議　　題　　①経過報告

②理事長の職務執行状況について

③令和７年度第２四半期会計実績及び定期監査の結果について

⑤諸規程の改正について

⑥その他

○第５回

日　　時　　令和８年２月２７日(金)午後６時 30 分

場　　所　　特別養護老人ホームあいぜんの里　地域交流ホール

出 席 者　　理事９名、監事２名

主な議題　　①経過報告

②組織規程の改正について

③理事長の職務執行状況について

④令和７年第３四半期会計実績及び定期監査の結果について

⑤諸規定の改正について
⑥その他

○第６回
日　　時　令和８年３月２７日(金)午後６時30分
場　　所　特別養護老人ホームあいぜんの里　地域交流ホール
出 席 者　理事７名（欠席２名)、監事２名
主な議題　①経過報告
②令和８年度資金収支予算（案）について
③令和８年度事業計画（案）について
④法令遵守責任者の補欠選任について
⑤法人役員損害賠償保険の更新加入について
⑥年度末手当の支給について
⑦その他

3　法人監事による監査の実施状況

○第１回　令和６年度決算監査
日　　時　令和７年５月１５日(木)午前10時00分
場　　所　特別養護老人ホームあいぜんの里　家庭介護者教室
出 席 者　監事２名
監査項目　①令和７年３月31日現在の預貯金残高及び借入金残高の確認
②令和７年５月15日現在の現金残高の確認
③令和６年４月１日から令和７年３月31日までの期間に係る
事業報告及び計算関係書類等の監査

○第２回　令和７年度第１四半期定期監査
日　　時　令和７年８月１９日(火)午後１時00分
場　　所　特別養護老人ホームあいぜんの里　家庭介護者教室
出 席 者　監事２名
監査項目　①令和７年４月１日から６月30日までの事業の運営状況の確認
②令和７年４月１日から６月30日までの出納調査

○第３回　令和７年度第２四半期定期監査
日　　時　令和７年11月18日(火)午後１時30分
場　　所　特別養護老人ホームあいぜんの里　家庭介護者教室
出 席 者　監事２名

監査項目　①令和 7 年 7 月 1 日から 9 月 30 日までの事業の運営状況の確認
②令和 7 年 7 月 1 日から 9 月 30 日までの出納調査

○第 4 回　令和 7 年度第 3 四半期定期監査
日　時　令和 8 年 2 月 18 日(水)午後 10 時 00 分
場　所　特別養護老人ホームあいぜんの里　家庭介護者教室
出 席 者　監事 2 名
監査項目　①令和 7 年 10 月 1 日から 12 月 31 日までの事業の運営状況の確認
②令和 7 年 10 月 1 日から 12 月 31 日までの出納調査

4　評議員選任・解任委員会の開催状況

開催なし

5　地域密着型ユニット型特別養護老人ホーム運営推進会議の開催状況

○第 1 回
日　時　令和 7 年 5 月 22 日(木)午後 3 時 00 分
場　所　特別養護老人ホームあいぜんの里　地域交流ホール
出 席 者　外部委員 7 名（欠席 1 名)、職員 7 名
議　題　①令和 7 年度の事業計画について
②利用者の状況について
③活動報告について
④事故・苦情報告について
⑤その他（意見交換等）

○第 2 回
日　時　令和 7 年 7 月 17 日(木)午後 3 時 00 分
場　所　特別養護老人ホームあいぜんの里　地域交流ホール
出 席 者　外部委員 6 名（欠席 2 名)、職員 7 名
議　題　①利用者・運営状況について
②活動報告について
③事故・苦情報告について
④その他（意見交換等）

○第３回

日　　時　　令和７年９月18日(木)午後３時00分
場　　所　　特別養護老人ホームあいぜんの里　地域交流ホール
出 席 者　　外部委員７名（欠席１名)、職員７名
主な議題　　①利用者・運営状況について
②活動報告について
③事故・苦情報告について
④その他（意見交換等）

○第４回

日　　時　　令和７年11月20日(木)午後３時00分
場　　所　　特別養護老人ホームあいぜんの里　地域交流ホール
出 席 者　　外部委員６名（欠席２名)、職員７名
主な議題　　①利用者・運営状況について
②活動報告について
③事故・苦情報告について
④その他（意見交換等）

○第５回

日　　時　　令和８年１月23日(木)午後３時00分
場　　所　　特別養護老人ホームあいぜんの里　地域交流ホール
出 席 者　　外部委員７名（欠席１名)、職員７名
主な議題　　①利用者・運営状況について
②活動報告について
③事故・苦情報告について
④その他（意見交換等）

○第６回

日　　時　　令和８年３月19日(木)午後３時00分
場　　所　　特別養護老人ホームあいぜんの里　地域交流ホール
出 席 者　　外部委員６名（欠席１名)、職員７名
主な議題　　①利用者・運営状況について
②活動報告について
③事故・苦情報告について
④その他（意見交換等）

6　苦情解決第三者委員への苦情受付報告の状況

報告件数　0 件

7　規程等の制定、改定状況

規程等の名称	制定・改定/施行日	備考
業務改善推進委員会設置規程	令和７年４月１日	制定
就業規則	令和７年６月１日	法人敷地内の禁煙に関する細文追加ほか
準職員就業規則	令和７年６月１日	定年に関する規定改定ほか
賃金規程	令和７年６月１日	賃金別表の改定ほか
準職員賃金規程	令和７年６月１日	賃金別表の改定ほか
役員等の報酬並びに費用弁償に関する規程	令和７年６月１日	役員報酬に関する規定改定ほか
育児・介護休業に関する規程	令和７年６月１日	法改正に則した介護休暇取得に関する但書の削除
準職員就業規則	令和７年10月１日	夜勤専従職員に関する但書を追加
準職員賃金規程	令和７年10月１日	夜勤専従職員の夜勤手当に関する規定を追加
育児・介護休業に関する規程	令和７年10月１日	法改正に則した条文の追加
育児・介護休業に関する規程	令和８年２月１日	所定労働時間に関する細文変更ほか

8　職員の施設別・職種別構成等（令和 8 年 3 月 31 日現在）

(1)特別養護老人ホームあいぜんの里・ユニット型特別養護老人ホームあいぜんの里
　　従来型（併設短期入所事業所含む）：入所定員 長期 50　短期 20
　　地域密着型ユニット型：入所定員　長期 20

職　　名	基準	配置	付　　記
施 設 長	1	1	
副施設長	―	1	
事 務 長	―	1	
生活相談員	1	3	
介護支援専門員	1	2	兼務 1
介護職員（従来型）	24	24.7	うちパート常勤換算 3.1
介護職員（ユニット型）	7	8	うちパート常勤換算 1
看護職員	4	5.47	うちパート常勤換算 1.47
管理栄養士	1	1	
機能訓練指導員	1	1	
歯科衛生士	―	0.25	パート常勤換算 0.25
事 務 員	―	4	
施設整備担当	―	2.58	うちパート常勤換算 2.58
洗濯員	―	0.9	パート常勤換算 0.9
医　　師	1	2	嘱託医（内科医 1、皮膚科医 1）
			※配置医師のほか協力歯科医 1

(2) あいぜんの里デイサービスセンター
　　通所介護・総合事業（通所型サービス）：一日利用定員　25

職　　名	基準	配置	付　　記
所長（管理者）	1	1	特別養護老人ホーム施設長兼務
生活相談員	1	2	兼務 2
介護職員	3	4.56	うちパート常勤換算 0.48、兼務 2
看護職員	1	1	うちパート常勤換算 0.49（併設特養の協力体制あり）
管理栄養士	―	1	
機能訓練指導員	1	1	

(3)あいぜんの里在宅介護支援センター・居宅介護支援事業所

	職　　名	基準	配置	付　　記
在宅介護支援センター	所長（管理者） ソーシャルワーカー 介護支援専門員	1 1 必要数	1 1 3	兼務 居宅管理者（主任介護支援専門員）兼務 居宅介護支援事業所兼務
居宅介護支援事業所	所長 居宅管理者 介護支援専門員	― 1 必要数	1 1 3	兼務 主任介護支援専門員 支援センターソーシャルワーカー兼務 支援センター兼務

9　職員の採用・退職等状況

採用者数	看護職員（正規職員）	2
	看護職員（準職員）	0
	介護職員（正規職員）	1
	介護職員（準職員）	1
	介護職員（パート）	1
	介護補助（パート）	1
	施設整備担当（パート）	2
	施設宿直業務者（パート）	2
合計		１０

退職者数	幹部職員	2
	介護支援専門員	1
	看護職員（正規職員）	1
	看護職員（パート）	1
	介護職員（正規職員）	2
	介護職員（準職員）	2
	介護職員（パート）	4
	介護補助（パート）	1
	施設整備担当(正規職員)	1
	施設整備補助（パート）	3
	施設宿直業務者	1
合計		１９

※法人全体職員数　（令和 8 年 3 月 31 日現在）　83 名

10　休暇等の取得状況

(1) 年次有給休暇（入職 6 か月未満は除く）

対象人数(退職者含む)	84 名
平均取得日数	12.5 日
取得率	76.3%

(2) 看護休暇

対象人数	10 名
平均付与日数	8.0 日
平均取得日数	7.0 日
取得率	87.7%

(3) 介護休暇（取得者を対象とする）

対象人数	5名
平均付与日数	10日
平均取得日数	3.6日
取得率	35.7%

(4) 特別有給休暇（行事休暇）

対象人数	16名
平均付与日数	4.2日
平均取得日数	3.2日
取得率	75.7%

(5) 育児短時間勤務者

4名

(6) 育児休業取得者

2名

11　外部研修派遣状況

	研修名等	開催日	所属	役職名
1	人事考課研修	2025/5/23	ユニット型特養	主任介護士
2	中堅職員研修	2025/6/5～6	特養 特養	事務主任 副主任介護士
3	虐待防止研修（基礎）	2025/6/12	ユニット型特養	介護士
4	認知症介護実践リーダー研修フォローアップ研修	2025/6/24	ユニット型特養	主任介護士
5	コミュニケーションスキルアップ研修	2025/6/25	デイサービスセンター	副主任介護士
6	令和7年度第1回釜石市介護支援専門員等研修会	2025/6/25	居宅介護支援事業所	介護支援専門員
7	刈払機取扱作業者安全衛生教育	2025/7/3	特養	事務主任
8	リスクマネジメント研修会	2025/7/14	ユニット型特養 特養	主任介護士 生活相談員
10	認知症介護実践者研修	2025/8/5～6	特養	介護士
12	コミュニティソーシャルワーカー養成研修①	2025/7/17～18	居宅介護支援事業所 居宅介護支援事業所	所長 管理者
13	コミュニティソーシャルワーカー養成研修②	2025/11/12～13	特養 居宅介護支援事業所	副施設長 所長
14	令和7年度労働災害事故防止研修会	2025/8/21	特養	介護支援専門員
15	令和7年度第1回岩手県認知症キャラバン・メイト養成研修	2025/9/9	居宅介護支援事業所	介護支援専門員
16	心肺蘇生法講習会	2025/9/9	デイサービスセンター	介護職員
17	令和7年度都道府県経営協セミナー（前期）	2025/9/11	特養 特養	施設長 副施設長
18	虐待防止研修（応用）	2025/9/19	特養	副主任生活相談員
19	感染管理に係るリンクナース育成事業（3年目）令和7年度「基礎研修」	2025/9/23	特養	看護職員
20	防火管理者講習	2025/9/25～26	特養	施設長
21	2025年度岩手県立大学社会福祉士実習指導者講習会	2025/9/27～28	居宅	所長
22	全国地域リハビリテーション合同研修大会inいわて2025	2025/10/4	特養 デイサービスセンター	機能訓練指導員 機能訓練指導員
23	介護事業所の人材採用・育成・定着セミナー	2025/10/7	特養	副施設長
24	部下育成のためのアサーション研修	2025/10/15～16	特養 特養	事務主任 主任介護士
25	令和7年度第1回大槌町介護支援専門員等研修会	2025/10/23	居宅介護支援事業所	介護支援専門員
26	部下育成のための傾聴研修	2025/11/13～14	デイサービスセンター 特養 特養	主任介護士・生活相談員 事務主任 主任介護士
27	令和7年度自家用自動車整備管理者講習会	2025/11/21	特養	事務主任
28	令和7年度第2回幹事会及び研修会	2025/12/4	デイサービスセンター	主任介護士・生活相談員
29	安全対策担当者養成研修（オンライン）	5/中旬から8/30	特養 特養 デイサービスセンター	副施設長 介護支援専門員 主任介護士・生活相談員
30	令和7年度釜石市高齢者施設救命講習	2026/2/27	居宅介護支援事業所	介護支援専門員
31	刈払機取扱作業者安全衛生教育	2026/3/18	特養	施設整備補助
32	つながる介護研修会	2026/3/16	居宅介護支援事業所	介護支援専門員

12　資格取得支援制度による支援の適用状況
（「社会福祉法人清風会奨学金貸与・返済軽減・資格取得等の支援規程」第4章　資格取得支援制度）

	対象資格等	開催日	所属	役職名
1	看護師免許	2024/4～3年間	特養	介護職員
2	介護支援専門員（更新Ⅰ・Ⅱ）	2025/8～10	居宅介護支援事業所	所長

13　特別養護老人ホームあいぜん里の事業報告

(1) 特別養護老人ホームあいぜんの里（長期）の運営状況

◆利用状況

区分	入所（人）		退所（人）		月末在所者（人）		延べ利用者数（人）			利用率（%）		
月	7年度	6年度	7年度	6年度	7年度	6年度	7年度	6年度	差	7年度	6年度	差
R7/4	1	4	0	1	50	46	1,500	1,323	177	100.0	88.2	11.8
R7/5	1	3	1	0	50	49	1,544	1,470	74	99.6	94.8	5
R7/6	1	1	2	1	49	49	1,459	1,480	▲ 21	97.3	98.7	▲ 1.4
R7/7	2	2	1	1	50	50	1,538	1,541	▲ 3	99.2	99.4	▲ 0.2
R7/8	0	1	1	1	49	50	1,541	1,535	6	99.4	99.0	0
R7/9	1	0	0	1	50	49	1,491	1,472	19	99.4	98.1	1
R7/10	0	1	1	0	49	50	1,534	1,550	▲ 16	99.0	100.0	▲ 1.0
R7/11	4	0	4	1	50	49	1,458	1,481	▲ 23	97.2	98.7	5.6
R7/12	1	1	1	1	49	49	1,514	1,517	▲ 3	97.7	97.9	▲ 0
R8/1	5	2	4	2	50	49	1,486	1,532	▲ 46	95.9	98.8	▲ 3.0
R8/2	2	2	4	1	48	50	1,358	1,375	▲ 17	97.0	98.2	▲ 1.2
R8/3	3	0	1	1	50	49	1,501	1,548	▲ 47	96.8	99.9	▲ 3.0
計	21	17	20	11	594	589	17,924	17,824	100	98.2	97.7	6.7

◆利用者の状況（令和8年3月31日現在）

男性	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	計
介護度3	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
介護度4	0	1	0	2	1	2	3	1	0	10
介護度5	0	0	0	1	0	2	0	0	0	3
計	0	1	0	3	1	5	4	1	0	15
			平均年齢		86.6歳		平均介護度			4.1

女性	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	計
介護度3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
介護度4	0	0	2	2	3	5	4	2	4	22
介護度5	0	0	1	1	2	3	4	0	1	12
計	0	0	3	3	5	9	8	2	5	35
			平均年齢		88.5歳		平均介護度			4.2

全体	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	計
介護度3	0	0	0	0	0	2	1	0	0	3
介護度4	0	1	2	4	4	7	7	3	4	32
介護度5	0	0	1	2	2	5	4	0	1	15
計	0	1	3	6	6	14	12	3	5	50
最高齢 103歳	最年少	69歳	平均年齢		87.1歳		平均介護度			4.2

(2) 特別養護老人ホームあいぜんの里（短期）の運営状況

◆利用状況

区分	要介護（人）		要支援（人）		合計（人）		延べ利用者数（人）			利用率（%）		
月	7年度	6年度	7年度	6年度	7年度	6年度	7年度	6年度	差	7年度	6年度	差
R7/4	51	46	1	2	52	48	535	476	59	89.2	79.3	9.9
R7/5	47	43	1	2	48	45	562	471	91	90.6	76.0	▲13.8
R7/6	46	43	1	1	47	44	513	426	87	85.5	71.0	14.5
R7/7	45	45	0	1	45	46	499	461	38	80.4	74.4	6.0
R7/8	45	50	2	1	47	51	524	479	45	84.5	77.3	▲6.2
R7/9	45	53	0	3	45	56	540	525	15	90.0	87.5	2.5
R7/10	42	55	0	0	42	55	551	554	▲ 3	88.8	89.4	▲ 0.6
R7/11	43	31	1	0	44	31	503	425	78	83.8	70.8	13.0
R7/12	36	39	0	0	36	39	436	518	▲ 82	70.3	83.5	▲ 13.2
R8/1	40	49	1	1	41	50	456	548	▲ 92	73.5	88.4	▲ 14.9
R8/2	44	42	1	0	45	42	447	469	▲ 22	77.0	83.8	▲ 6.8
R8/3	41	48	0	1	41	49	481	531	▲ 50	77.5	85.6	▲ 8.1
計	525	544	8	12	533	556	6,047	5,883	164	82.6	80.6	2.0

◆利用者の状況(要介護度別利用者数)

男性	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
要支援2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
介護度1	1	2	2	2	1	1	1	1	2	0	0	1
介護度2	3	2	1	1	2	3	1	1	1	0	1	1
介護度3	7	5	3	4	5	3	5	6	5	7	7	7
介護度4	5	4	4	3	3	3	3	2	1	0	1	1
介護度5	0	0	0	0	1	1	1	2	1	0	2	2
計	16	13	11	10	13	11	11	12	10	7	12	12

女性	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0
介護度1	8	6	8	8	7	7	8	7	5	5	4	2
介護度2	10	8	9	8	8	10	8	7	6	10	9	10
介護度3	9	10	11	12	11	7	7	6	6	8	10	8
介護度4	7	9	7	6	5	8	7	9	9	10	9	7
介護度5	1	1	1	1	3	3	2	4	1		3	4
計	36	35	36	35	35	35	32	34	27	34	35	31

全体	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
要支援2	0	0	0	0	2	0	0	1		1	0	0
介護度1	9	8	10	10	8	8	9	8	7	5	4	3
介護度2	13	10	10	9	10	13	9	8	7	10	10	11
介護度3	16	15	14	16	16	10	12	12	11	15	17	15
介護度4	12	13	11	9	8	11	10	11	10	10	10	8
介護度5	1	1	1	1	3	3	2	4	1		3	4
計	52	48	47	45	47	45	42	44	36	41	45	41

◆利用者の状況(年齢・介護度別)　(令和８年3月31日現在)

全体	～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	計
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護度1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
介護度2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
介護度3	0	0	0	0	0	1	2	1	1	0	5
介護度4	0	0	0	0	2	1	0	0	1	0	4
介護度5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	2	2	3	3	2	0	12

最高齢	98	最年少	77	平均年齢	87.8	平均介護度	3.1

特別養護老人ホーム（従来型）令和7年度実践内容実施報告書

清風会 達成目標	**利用者様、職員、地域の三者から選ばれる法人であり続けるために、 法人の経営基盤を安定させ、法人の付加価値を高めて地域社会に還元する。 テーマ『ここで煌めく～人や地域をつなぐ力に～』**
特養あいぜんの里 実施目標	**利用者様が安心をもてるサービスを継続し地域、利用者様に選ばれる特養を作っていく** Ⅰ 研修や話し合いを行ない、情報共有や人材育成を図りケアとチームの質の向上ができる。 Ⅱ 利用者様の想いが大切にされ、その人らしさを大切にすることで意欲的に生活できる。
重点項目	ⅰ 一人ひとりがあいぜんの職員としての自覚を持ち、利用者様が望む暮らしを提供出来るよう資質向上を目指します。 ⅱ 利用者様の気持ちを大切にし、自己を表現できる環境を整え、その方らしく生活できるようにする。

	実践内容	実践ﾘｰﾀﾞｰ	実施・進捗状況	成果が出た事	反省・残された課題	改善策
ⅰ	1）教育・研修の場を持ち、振り返り、学習を実施する。 ※ 特養職員として自身の振り返り、新たな知識習得に努め、資質の向上、チームとしてのレベル向上を目指す ≪特養研修会内容≫ 4月 今年度の事業計画 6月 リスクマネジメント 7月 高齢者虐待防止と身体拘束廃止 9月 認知症 10月 感染症、食中毒の予防及びまん延の防止 12月 医療的ケア、看取りケアについて 1月 口腔ケアについて 2月 3月	主任 副主任	1）達成率100% ※ 介護職の他、各職種に講師を依頼、特養会議前に研修会を開催。 5月、8月、11月は実施できなかったが、予定月から他の月に変更して実施した。	各職員で講師を行ない、各々のケアに関しての振り返りや意識を高めることができた。	研修参加出来ない職員に向けての伝達について、細やかな開催時間、伝達方法の工夫が前年同様できていない。	講師を経験したことがある職員だけでなく他の職員が講師を担当する事で職員の資質・ケアの質向上が図れる 参加した職員が参加出来なかった職員に説明を行う事で、説明する側、聴く側も共に研修を振り返る事ができる。 取り組みは職員全体で行なっている事を伝え、一人一人の意識づけ、チーム力の向上を図る。
	2）ショート会議の活用 ※ 利用者様の情報共有、家庭・利用者様の意向確認、ケアの検討、統一を行ない、安定的で継続的なサービスを提供する。	主任 副主任 相談員	2）達成率50% ショート独自の会議は日程調整がとれず、開催できなかったが、特養会議の機会をつかって僅かだが話しをすることが	利用者・その家族・他事業所の考え・意向を知る機会となり、個々に対してケア方法や対応策を検討できた。	会議開催の日程調整について、SS送迎や実調等スケジュール確認が必要	前月の時点で勤務、スケジュールを確認して開催日程を設定する
	3）介護ソフト・ICT機器、ケア検討チームの取り組みを実施する。 ※ ※『生産性向上』『排泄・皮膚状態』『入浴』『食事』チームを構成し、ケア・業務・コスト改善を行なう	介護士	入浴の機会を毎月イベント・会議等考慮しながら予定のスケジュールをたてて、取り組むことができた。 排泄・皮膚状態検討チームでパットの使用状況を排泄用品メーカーと話し合う機会をつくり、利用者の排泄状況にあわせたパットの検討について行った。 生産性向上の取り組みでは、県の業務改善・効率化の伴走支援事業とともに取り組み、会議記録や申し送りの情報共有について取り組んだ。	利用者の生活の為にチームで話し合い、皆で情報交換をしながら進める事ができ取り組みの改善点や課題を介護職員で考える機会になった。 業務アドバイザーからの助言を受けながら、現場の課題を洗い出し、分析した中から働きやすい環境づくりを考えることができた	会議以外でも課題を相談できる環境があればより、ケアの改善を行なえた。	チーム構成は広い意見を拾えるよう正職以外にも準職もメンバーの中に入れて取り組むことができた。 取り組みがその場限りにならないよう振り返り、現状の確認する機会をつくる。 現状に必要な検討チームを自分達で考え次年度の取り組みとして行なって行く。
ⅱ	1）利用者の意向調査の実施。 ※意向調査を実施し利用者の生活に意向を反映する	主任介護士 副主任介護士 介護士	1）達成率100% 6月の家族懇談会に実施 介護士より聞き取りして意向調査できた。	利用者やその家族から意向等の理解を深める事が出来た。	利用者の家族から情報収集する機会ができなかった。	意向調査の必要性、実施方法を予め職員間で確認し、聞き取りの内容にズレなく行なうよう統一する。 利用者・家族の言葉、意思表示を大切に受容し対応する。
	2）日々の暮らしを楽しんで頂けるようなイベントを開催する。 ※意向調査の活用、利用者参加型のお楽しみ会を計画、提供する。 ・家族会(6/29)・夏祭り(7/4)・納涼（8/19） 長寿を祝う会(9/14)・忘年会(12/15)	行事担当介護士	2）達成率100% 行事は計画の予定どおり実施できた。 行事開催時は参加の介助を行ないながら利用者個々の意見を聞き取ることができた。	家族会、納涼大会、長寿を祝う会では利用者家族を招く事ができ、利用者と家族の交流の場がもてた。 職員が取り組む余興を各利用者が楽しまれていた。		行事後のアンケート、反省の内容を確認し、行事の内容をより利用者様に楽しんで頂けるよう情報を更新して、記録し保管する。
	3） 中学生（大平中学校）との交流会 5/20、 中学生（唐丹中学校）との交流会 11/6 祥雲支援学校との交流会 9/22 秋の彼岸供養 9/24 新年会 1/1 小正月 水木団子作り、飾り 1/11 節分 2/1	行事担当介護士	3）達成率80% ・意向調査から利用者様の要望に近づけた物を企画する。 ・利用者様に楽しんで頂けるよう毎月のイベントを行う。	おやつ等、利用者自身で選択して楽しみをもって食事をして喜ばれる姿がみられた。 施設だけでなく、地域とのつながり、他の世代との関わりを感じる活動を行なう事ができた。	行事の他に日常で出来る時間が作れれば、散歩する等日頃の生活の中に楽しみが必要という声があった。 ※秋の外出支援を10か11月に実施予定であったが体調不良等の都合で実施できなかった。	行事以外に日頃の空いた時間に施設周辺の散歩、中庭の花見等の機会を作る。 行事内容を2カ月前の特養会議にてどのような事を行なうかを話し合い、利用者、職員の声がより反映されたものを実施していく。
ⅲ	1）利用率、収入の安定化を図る ※利用率：９８%、短期：８０%を目標に速やかな選定と入所、サービス利用の調整を行なう。	相談員	達成率 長期100% 短期100% 長期 短期 長期 短期 4月 100% 88.2% 10月 99.0% 88.0% 5月 99.7% 89.5% 11月 97.5% 92.5% 6月 97.4% 84.8% 12月 97.7% 50.2% 7月 99.3% 80.5% 1月 96.1% 72.5% 8月 99.5% 81.3% 2月 97.3% 70.8% 9月 99.4% 3月 96.9%	長期：予め入所候補の選定を相談員で入所判定会議を行ない、複数人準備することができたので、空床の期間を大幅に短縮できた。 稼働率 長期 98.3% 短期 80.6%	参考：全国平均93%前後） 参考：全国平均（76～80%）	相談員、介護支援専門員と連携を密にし、利用率の安定に向けて継続的に取り組んでいく。

(4) 特別養護老人ホームあいぜんの里　行事・活動実施状況

活動・行事名	開催年月日	結果等
オープンカフェ（第3水曜:ケーキバイキング）	毎週水曜14時～	食堂ホールにて、オヤツに加えて好みの飲み物（コーヒー、紅茶、ココア、昆布茶等）を提供するとともに、憩いの時間の提供となった。（※第3水曜日は、数種類のケーキの中から個々に選択。）
お花クラブ	毎月第3木曜14時～	参加利用者が活け花を実施。季節の花材を利用し、各々考えながら取り組んだり、時には介護士の補助をしながら花を活けた。利用者4名でクラブ活動を実施した。
お花見会	令和7年4月27日	食堂前の庭にて植樹した桜が満開になる時期に合わせ、青空の下で観賞、合わせて当日のオヤツを楽しんだ。
大平中学校ソーラン舞踊（大平中学校福祉学習）	令和7年5月20日	正面玄関前にて、大平中学校3年生がソーラン節の演舞を披露。生徒達のソーラン節を楽しんだ。
家族懇談会	令和7年6月29日	当年度事業の説明のほか、利用者、利用者家族、職員が食堂ホールにて談話しながら七夕の短冊を書き、飾りつけを行う活動交流や利用者の居室内を実際に見てもらい、家族が普段の生活環境を確認する機会を行なった。
夏まつり	令和7年7月4日	大平中学校2年生の生徒、職員が模擬店やゲームコーナーを運営。福祉学習の一環として行事を通しながら利用者、生徒、職員の三者がふれあいを楽しみながら交流を行なった。
上平田NT町内会合同納涼大会	令和7年8月9日	敷地内駐車場にて上平田ニュータウン町内会と合同で納涼大会を開催した。多くの地域住民が来訪し、桜舞太鼓等外部団体の余興や中学生ボランティア協力を受けながら夏の催しを地域住民と共に楽しんだ。
長寿を祝う会	令和7年9月14日	敬老の時期にあわせて入所利用者に敬意を表し、敬老の式典を開催。今年度の祝い年、百歳以上の該当者等の祝い、記念品贈呈や職員による余興披露、昼食には祝い膳が提供された。
釜石祥雲支援学校奉仕・交流活動	令和7年9月22日	祥雲支援学校中等部生徒達が来所され玄関・窓・歩行器等の清掃活動を行う。その後、食堂にて交流活動として歌の披露が行なわれ、生徒の歌声を喜んで聞き過ごしていた。

活動・行事名	開催月日	結果等
秋の彼岸供養	令和7年9月24日	地域交流ホールにてユニット型特養と合同で彼岸供養の営みを行なう。仙寿院住職の読経・法話を聞き、故人や先祖を偲び手を合わせ祈っていた。
郷土芸能門打ち訪問	令和7年10月18日	地域の釜石祭りに伴い、玄関前にて平田神楽・平田虎舞・年行事司太神楽が門打ちに来所され、無病息災を祈願した芸能の披露が行なわれた。
古川舞踊教室・天童流日本舞踊ボランティア	令和7年10月25日	古川舞踊教室・天童流ボランティアがデイホールで行われ、日本舞踊等を楽しんだ。
唐丹中学校虎舞舞踊（唐丹中学校福祉学習）	令和7年11月6日	唐丹中学校の生徒達による唐丹町大石地区の伝統芸能である大石虎舞の披露が行なわれた。同地区出身の方や祭り好きな方は手拍子しながら観賞していた。
忘年会	令和7年12月15日	食堂ホールにて令和7年忘年会を開催。事務・特養職員の余興、カラオケや菓子盛り合わせ、飲み物等を楽しんだ。
みのもとみこ様音楽コンサート	令和7年12月19日	地域交流ホールにてコンサートを開催。季節にあわせた演奏や歌声に利用者方も心を通わせ、手拍子をしながら歌唱を聞き、歌い過ごしていた。
新年会	令和8年1月1日	食堂ホールにて令和8年新年会を開催。みんなで新年の挨拶を行ない、今年を迎えての抱負を各用紙に記入し、最後に職員からの歌唱を楽しんだ。
水木団子作り、飾りつけ	令和8年1月12日	小正月の時期に合わせて水木団子作り、飾りつけを行なった。団子を丸める作業、水木に飾り付ける作業等を利用者・職員と一緒に取り組んだ。
節分	令和8年2月1日	今年の干支である午年生まれの方の紹介を行ない、鬼に扮した介護士に向けて豆まきを行なった。それぞれ思いのままに紅白玉（豆の代用）を投げ、利用者・職員とも笑い合っていた。
おひなさま会	令和8年3月1日	ひな祭りの由来を説明し、歌に合わせて手を動かしたりして前運動をした後、皆でひな祭りを一緒に歌う。その後、玄関の雛段飾りで写真撮影を行なった。

(5)　特別養護老人ホームあいぜんの里事業所内研修会、会議開催状況

◆　特別養護老人ホームあいぜんの里事業所内研修会

研修内容	開催年月日	講師
令和7年度事業計画について	令7年4月25日	・講義　介護長
リスクマネジメント 事故報告書の書き方のポイント	令7年6月26日	・講義　主任介護士
高齢者虐待防止と身体拘束廃止	令7年7月18日	・講義　介護長
認知症 共生社会の実現を推進するための認知症基本法について	令7年9月19日	・講義　副施設長
感染症又は食中毒の予防及びまん延の防止について	令7年10月20日	・講義　副主任介護士
業務改善における伴走支援 取り組みの説明	令7年11月27日	・講義　介護長
看取りケア	令7年12月17日	・講義　介護長
口腔ケアについて	令8年1月22日	・講義　歯科衛生士
災害時の業務継続計画（BCP）について	令8年3月19日	・講義　副主任介護士

◆　特別養護老人ホームあいぜんの里事業所内会議

会議名	開催年月日	主な内容
特養会議	令和7年4月25日	利用者処遇、事故・安全対策の検討、次月予定、円滑なケアを図るための協議
	令和7年6月20日	
	令和7年7月18日	
	令和7年8月22日	
	令和7年9月19日	
	令和7年10月20日	
	令和7年11月27日	
	令和7年12月17日	
	令和8年1月22日	
	令和8年2月19日	
	令和8年3月19日	

14　ユニット型特別養護老人ホームあいぜんの里の事業報告

(1) ユニット型特別養護老人ホームあいぜんの里の運営状況

◆利用状況

区分	入所（人）		退所（人）		月末在所者（人）		延べ利用者数（人）			利用率（%）		
月	7年度	6年度	7年度	6年度	7年度	6年度	7年度	6年度	差	7年度	6年度	差
R7/4	0	3	1	1	20	20	600	575	25	100.0	95.8	4.2
R7/5	1	2	0	2	20	20	593	584	9	95.6	94.2	1.5
R7/6	0	0	0	2	20	18	600	594	6	100.0	99.0	1.0
R7/7	0	1	0	0	20	19	620	574	46	100.0	92.6	7.4
R7/8	0	1	0	0	20	20	620	620	0	100.0	100.0	0.0
R7/9	0	0	1	1	19	19	588	600	▲ 12	98.0	100.0	▲ 2.0
R7/10	1	1	0	0	20	20	605	620	▲ 15	97.6	100.0	▲ 2.4
R7/11	0	0	0	2	20	18	600	591	9	100.0	98.5	1.5
R7/12	0	1	0	0	20	19	620	565	55	100.0	91.1	8.9
R8/1	0	0	0	2	20	17	620	575	45	100.0	92.7	7.3
R8/2	0	2	0	0	20	19	560	510	50	100.0	91.1	8.9
R8/3	0	2	0	1	20	20	620	570	50	100.0	91.9	8.1
計	2	13	2	11	239	229	7,246	6,978	268	99.3	95.6	3.7

◆利用者の状況（令和８年3月31日現在）

男性	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	計
介護度3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
介護度4	0	1	0	1	0	1	0	1	0	4
介護度5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	1	0	1	1	1	0	1	0	5
			平均年齢		82.6歳		平均介護度			3.8

女性	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	計
介護度3	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2
介護度4	0	0	1	0	1	1	3	2	1	9
介護度5	0	0	1	0	1	0	2	0	0	4
計	1	0	2	1	2	1	5	2	1	15
			平均年齢		86.4歳		平均介護度			4.0

全体	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	計
介護度3	1			1	1					3
介護度4		1	1	1	1	2	3	3	1	13
介護度5			1		1		2			4
計	1	1	2	2	3	2	5	3	1	20
最高齢 101歳	最年少	60歳	平均年齢		85.1歳		平均介護度			4.0

地域密着型ユニット型特養（あすなろ棟）令和7年度実践内容実施報告書

清風会 達成目標	利用者様、職員、地域の三者から選ばれる法人であり続けるために、 法人の経営基盤を安定させ、法人の付加価値を高めて地域社会に還元する。 テーマ『ここで煌めく～人や地域をつなぐ力に～』
地域あいぜんの里 実施目標	チームとして穏やかな支援を心掛け、入居者一人ひとりニーズに対応した支援を行いケアの質を向上する。
重点項目	ⅰ 入居者様の人格、尊厳を尊重した信頼関係、生活環境の構築 ⅱ 一人一人に寄り添った環境を気付く事でチーム機能の向上を図る。 Ⅲ 事業継続に向けた取り組みを行う。

	実践計画	実践ﾘｰﾀﾞｰ	実施・進捗状況	成果が出た事	反省・残された課題	改善策
ⅰ	1） 利用者意向調査の実施。 ＊年２回の意向調査を実施。	主任介護士 介護職員	達成率95% ・年２回、４月と１０月に実施予定であったが10月には実施できず2回目は11月に実施する。それぞれの担当が空いている時間を使い調査する。その他意向調査以外でも毎週のミニケア会議や空き時間を活用して職員間で情報の共有を行う。	・利用者の意向を聞き、取り組める事項については取り組んだ。忘年会で希望食の煮しめの提供、母親に会いたいという訴えから外出支援も実施等 ・新規利用者に関しては４月、１０月以外にも調査できた。 ・利用者の好みを共有し、それを元に入浴の時間や温度、食事の変更等を早めに行う事ができた。	・意思疎通が困難な利用者の意向も聞き取りと実施。 ・反映できた利用者もいたが、できなかった利用者もいた。 ・買い物の外出支援は出来なかった。 食事についてはその方に合わせた対応が出来ていたと思うが入浴については職員側の都合（順番）になっていた	確実に行えること、利用者の意見に近い事を順番に行っていく。 利用者の意向を表を作って見える化した物にいつ頃実行するかを目標に入れる。 ミニケア会議、行事の話し合いの中で出来る事から実現する。 入浴に限らず、物事を考える際に利用者にとってどうか基準での業務の構築
	2）利用者懇談会の開催 ※ケーキバイキング、オープンカフェ時に利用者様との触れ合いの時間を作る。 ＊毎週開催	主任介護士 介護職員	達成率100% ・毎月のケーキバイキングやオープンカフェは開催できたが懇談会は定期的には出来なかった。 ・ケーキバイキングやオープンカフェ以外の時間にも利用者との関りをもてた。	・懇談会の開催は行えていなかったが忘年会では今年の活動を振り返り、利用者の意向を確認する事ができた。	・自分の意見を伝えられる利用者の意見がどうしても強くなってしまい、利用者毎で偏りがある。 ・職員のいる、いない日の差があり開催が行えていない事が多い。	・土日に拘らず日時を決め、職員をその日は調整する。 ・全員でなくても出来る時に数名ずつの参加で行う。
	3）利用者様の意見が反映された行事を開催する。 ※意向調査の内容を活用し、その利用者様に合った楽しみを提供する。利用者様の想いを吸い上げ実施する。 ※毎月随意開催 4月　お花見ツアー 5月　おやつ作り（子供の日） 6月　家族会/野菜・花の苗植え 7月　夏祭り（すいか・かき氷） 8月　納涼大会 9月　長寿を祝う会 11月　バスハイク（紅葉見物） 12月　忘年会 1月　みず木団子作り	主任介護士 介護職員	達成率100% ・職員の人数の都合等で10月の秋の味覚フェアは行えなかったが忘年会と合わせて手作り食を実施した。 ・年度初めに1年分の行事を決めほぼ実施できた。	・忘年会で入居者様が食べたいと話していた煮しめや炊き込みご飯の提供が出来て入居者様も喜ばれていた。 ・季節にあった行事も行えた。 ・各月で行事担当を配置し、入居者様が楽しめるような行事を提供、開催できた。	・[食べる]事についての意向は可能であったが買い物（外出）の機会が感染対策も難しく実施出来なかった。 ・利用者一人一人に合った、要望とまでは行かなかった	・例年通りではなく意向調査の中から拾って行事を決めて行く。 ・同じような意向を一緒に行う。実現が難しいものに関しては希望に近い事を小さな規模で計画していく。
	1）ミニケア会議の定着化 ※利用者様の課題把握、ケアの改善策を話し合い実施する。 ※毎週開催	主任介護士 介護職員	達成率100% ・毎週日曜日開催。検討した内容をミニケア会議用紙に記載し、参加出来なかった職員には閲覧した際に判子を押し印する形で実施した。 ・入浴業務等で開催できない週もあったが日曜日に限らず時間がある際は平日に開催した。 ・検討し実施してみてどうだったか、継続するかを１か月後に再確認を行いケアの継続を行えた。	・普段困っている事、相談したい事を先延ばしすることなく直ぐに話し合う事ができた。 ・統一したケアに繋げる事ができた。 ・利用者一人一人、それぞれの対応について話しあえた。	・時折情報が漏れている時があった。 ・ケアの統一の継続性	・決まった事を互いに日頃から確認、声掛けを行っていく。 ・日曜日に拘らず検討事項がある際は時間を作って早めに開催す

ⅱ	２）ユニットケアの原点を振り返り、実績する。 ※２４Hシートを作成し、その人の生活リズムに合わせたサービスを提供する。 ※毎月開催	主任介護士 介護職員	達成率60% 10月に24Hシートの取り組みについての講義を行った後、新規利用者と既存利用者各1名ずつを対象に食事、排泄、入浴、起床、日常に分け1週間から2週間毎に分け記録を行った。 取り組み開始が10月からとなり、取り組み途中となっている。	他職員の観察点等、自分だけでは分からなかった事を知る事ができた。まだアセスメントの状態だが、利用者に向き合う時間を設ける機会になった 日頃のケアを意識し、他者の対応等をみる事でその人を様々な視点でみれより理解が深まった。情報の大切さ、共有する事の大切さをあらためて復習できた。	まだ、アセスメントの段階の為、生活リズムの把握まで出来ていない。 対象の利用者がその日によってリズムが違く把握するのが難しく感じた。	情報収集分析し、職員間で統一したケアを継続していく。 途中経過の部分でも情報から拾って話し合ったり、一日を通した動きが分かる物を作成していく。
	３）介護ソフト・ICT機器、ケア検討チームを構成し取り組みを実施する。 ※「生産性向上」「ケア検討」チームを構成し、ケア・業務・コスト改善を行う。 ※毎月実施	主任介護士 介護職員	達成率50% ケアの検討チームについて構成はしていたが殆ど機能できていなかったが毎週のミニケア会議や何でもノートを活用しながらケアや業務、コスト改善を行った。	限られた人数の中でより質の高いサービスを提供するにあたり効率良く業務の負担を見直しながら実施できた。 その方に合ったパットの見直しを行ったり、無駄なパットの使用、交換回数を改善できた。	検討チームが途中から上手く機能していなかった。 機器について教えれる人が少ない。分からない際に教えれる人が限られていると覚え活用していく上で効率が悪い。 コストを意識するあまり電気を点けるのが遅く、新たなリスクを生んでしまっていた時があった	検討チームのあり方について、確認すると共に月で振り返りを行う。 伝えていく所、確認すべき所を意識して考え、分からないままの人を減らしお互いに共有出来ている部分を増やす。 コスト意識をすると共に、必要な部分を間違えない様一人一人意識、確認を行う。
Ⅲ	１）利用率、収入の安定化を図る 利用率、99.2%以上を目標にする。入所待機者名簿の整備し、速やかな選定と入所に繋げる。		達成率100%　稼働率99.2% 4月　100%　10月　97.6% 5月　95.6%　11月　100% 6月　100%　12月　100% 7月　100%　1月　100% 8月　100%　2月　100% 9月　98.0%　3月　100% 参考（全国平均93.2%）	予め入所候補の選定を相談員で入所判定会議を行ない、複数人準備することができたので、空床の期間を大幅に短縮できた。		相談員、施設ケアマネと連携を密にし利用率安定に向けて継続して取り組んでいく。

(3) ユニット型特別養護老人ホームあいぜんの里　行事・活動状況

活動・行事名	開催年月日	内容
オープンカフェ（第1日曜:ケーキバイキング）	毎週日曜14時～	リビングにて、オヤツに加えて好みの飲み物（コーヒー、紅茶、ココア、昆布茶等）を提供するとともに、憩いの時間の提供となった。（※第1日曜日は、数種類のケーキの中から個々に選択。）
お花見バスハイク	令和7年4月13日	桜開花に合わせて外出する。唐丹本郷の桜並木,小川の山神神社付近の桜を車中からと降りてから眺めて頂いた。
手作りおやつ（団子、お汁粉）	令和7年5月4日	１丁目、２丁目の利用者皆で集まり、端午の節句に合わせて『ホットケーキ』を職員とともに作った。その他コーヒー、抹茶等個々に選択した飲み物とケーキ、おやつを食べながら談笑の時間を過ごした。
大平中学校生によるソーラン舞踊慰問（大平中学校福祉学習）	令和7年5月20日	正面玄関前にて、大平中学校3年生がソーラン節の演舞を披露。生徒達の動きや音楽に合わせて終始手拍子をして楽しまれる。
野菜と花の苗植え	令和7年6月9日	ユニット玄関前にてプランターを利用して花（ペンタス、ポーチュラカ、ヒマワリ、クイーンカップ）の苗植えを行なった。皆花が咲くのを楽しみにされながら作業を行なっていた。
家族懇談会	令和7年6月29日	当年度事業の説明後、ユニット・フロアの紹介並びに職員紹介を行なった。その後利用者は、各々の居室にて家族とふれあいの時間を楽しみながら短冊に願い事を一緒に記入されておられた。
夏まつり	令和7年7月4日	大平中学校2年生の生徒、職員が運営する模擬店やゲームコーナーで、利用者、生徒、職員の三者が楽しみながら交流を行なった。皆さん良い表情でゲームやかき氷、綿あめ、ゲーム等の模擬店を利用していた。
上平田NT町内会合同納涼大会	令和7年8月9日	敷地内駐車場にて上平田ニュータウン町内会と合同で納涼大会を開催した。多くの地域住民も来訪し、桜舞太鼓等外部の余興、模擬店を地域住民と共に楽しんだ。
長寿を祝う会	令和7年9月14日	敬老の時期にあわせて入所利用者に敬意を表し、敬老の式典を開催。今年度の祝い年、百歳以上の該当者等の祝い、記念品贈呈や慰問による余興披露、昼食には祝い膳が提供された。

活動・行事名	開催年月日	内容
秋の彼岸供養	令和7年9月24日	施設で逝去された利用者の供養を秋彼岸の時期に合わせ、仙寿院の住職を迎えて供養を行なった。住職の読経、法話の後に参加した利用者が順番に焼香した。
釜石祭り門打ち	令和7年10月18日	正面玄関前にて南部藩松院年行司支配太神楽、平田神楽保存会、平田青虎会の門打ちがあり太鼓や笛の音に合わせて手拍子をされながら楽しんでいた。
古川舞踊教室、天童流の踊りの慰問	令和7年10月25日	音楽や踊りに合わせて手を動かし一緒に踊られたりされながら参加される。
秋のバスハイク	令和7年11月2日	仙人峠に紅葉をみに外出する。紅葉を静かに眺められたり、「綺麗だ～」と話されながら夢中になられておられた。車から降り紅葉をバックに写真撮影を行うとにこやかに手を上げておられた。
唐丹中学校による大石虎舞と合唱の慰問	令和7年11月6日	正面玄関前にて、唐丹中学生が大石虎舞と合唱を披露。生徒達の動きや音楽に合わせて終始手拍子をして楽しまれ、「寒いのによく来てくれたね」「見に来れて良かった」と満足そうに話されておられた。
音楽コンサート慰問	令和7年12月19日	みのもともこ様の音楽コンサート慰問に参加され、演奏に対して、手を大きく振られたり、一緒に歌いながら楽しそうに参加される。
忘年会	令和7年12月14日	１丁目リビングに集合して忘年会を開催。各種の食事をしながら、職員の余興を楽しんでいた。
水木団子作り	令和8年1月11日	１丁目リビングにて水木団子作りを行う。団子を綺麗に丸められ、団子が茹で上がると隣あった利用者と協力しながら次々に枝に飾られておられた。「何年ぶりでやったべ」「懐かしかった」と話されながら楽しまれる。
節分	令和8年2月3日	各丁目で鬼に仮装した職員に向かって「鬼は外、福は内」と元気よく豆の代わりの紅白ボールを勢いよく投げられ、楽しそうに参加されておられた。
ひな祭り茶会	令和8年3月3日	雛あられ、甘酒を召し上がって頂いた後、お雛様、お内裏様の手作り衣装をきて男女ペアで写真撮影を行う。

(4) ユニット型特別養護老人ホームあいぜんの里事業所内研修、会議開催状況

◆ユニット型特別養護老人ホームあいぜんの里事業所内研修

研修内容	開催年月日	講師
認知症	令和7年5月25日	・講義 主任介護職員
口腔ケア	令和7年6月25日	・講義 歯科衛生士
医療的ケア	令和7年10月9日	・講義 看護職員
倫理・法令遵守	令和7年10月16日	・講義 施設長
リスクマネジメント	令和7年12月12日	・講義 主任介護職員
感染症予防と食中毒	令和8年1月26日	・講義 管理栄養士
看取り 精神的ケア	令和8年1月31日	・講義 介護職員
口腔ケア	令和8年2月19日	・講義 歯科衛生士
高齢者の身体拘束、虐待の防止	令和8年3月31日	・講義 主任介護職員

◆ユニット型特別養護老人ホームあいぜんの里事業所内会議

会議名	開催年月日	主な内容
ユニット リーダー会議	令和7年4月4日	職員勤務体制、事業計画執行確認、次月予定の確認ほか
	令和7年5月2日	
	令和7年6月5日	
	令和7年9月3日	
(あすなろ棟) ユニットフロア 会議	令和7年4月25日	利用者処遇、事故・安全対策の検討、次月予定、円滑なケアを図るための協議ほか
	令和7年5月26日	
	令和7年6月29日	
	令和7年7月29日	
	令和7年9月25日	
	令和7年10月31日	
	令和7年11月26日	
	令和7年12月24日	
	令和8年1月27日	
	令和8年3月26日	
会議名	開催月日	主な内容
ミニケア会議	令和7年4月26日	利用者処遇・対応策の検討
	令和7年5月11日	
	令和7年5月25日	
	令和7年7月6日	
	令和7年7月13日	
	令和7年7月14日	
	令和7年7月20日	

◆ユニット型特別養護老人ホームあいぜんの里事業所内会議

会議名	開催月日	主な内容
ミニケア会議	令和7年7月25日	利用者処遇・対応策の検討
	令和7年8月3日	
	令和7年8月24日	
	令和7年9月7日	
	令和7年9月20日	
	令和7年10月5日	
	令和7年10月10日	
	令和7年10月19日	
	令和7年10月26日	
	令和7年11月9日	
	令和7年12月9日	
	令和7年12月28日	
	令和8年1月1日	
	令和8年1月11日	
	令和8年1月17日	
	令和8年1月18日	
	令和8年2月22日	

15　あいぜんの里デイサービスセンターの事業報告

(1)　あいぜんの里デイサービスセンターの運営状況

◆利用状況

区分	通所介護(人)		総合事業(人)		延べ利用者数(人)			営業日数		利用率(%)		
月	7年度	6年度	7年度	6年度	7年度	6年度	差	7年度	6年度	7年	6年度	差
R6/4	52	61	28	20	493	524	▲ 31	26	26	75.8	80.6	▲ 4.8
R6/5	54	61	27	18	509	536	▲ 27	27	27	75.4	79.4	▲ 4.0
R6/6	59	59	26	21	513	524	▲ 11	25	25	82.0	83.8	▲ 1.8
R6/7	58	59	26	21	533	572	▲ 39	27	27	78.9	84.7	▲ 5.8
R6/8	60	59	24	20	468	497	▲ 29	26	26	72.0	76.4	▲ 4.4
R6/9	57	56	23	21	468	490	▲ 22	26	25	74.8	78.4	▲ 3.6
R6/10	55	61	25	21	476	528	▲ 52	27	27	70.5	78.2	▲ 7.7
R6/11	51	54	23	25	398	226	172	25	17	63.6	53.1	10.5
R6/12	51	51	22	22	350	403	▲ 53	22	25	63.6	64.4	▲ 0.8
R7/1	55	54	20	22	401	410	▲ 9	25	25	64.1	65.6	▲ 1.5
R7/2	55	53	20	24	397	448	▲ 51	24	24	66.1	74.6	▲ 8.5
R7/3	59	51	19	27	444	482	▲ 38	26	26	68.3	74.1	▲ 5.8
計	666	679	283	262	5,450	5,640	▲ 190	306	300	71.2	75.2	▲ 4.0

◆利用者の状況（令和7年3月31日現在）

男性	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	計
事業対象							1			1
要支援1					1	1				2
要支援2										0
介護1			1			3	1	1		6
介護2				1	1	2	1			5
介護3				1	1	2				4
介護4				2						2
介護5										0
計	0	0	1	4	3	8	3	1	0	20
					平均年齢		84.8歳	平均介護度		2.1

女性	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	計
事業対象							1	1		2
要支援1						3	1			4
要支援2				1	1	3	6			11
介護1					3	10	8			21
介護2			1	1		1	2	3		8
介護3			1	2	1	1	2	2	1	10
介護4		1		1	1	2	1	1		7
介護5			1	1		1				3
計	0	1	3	6	6	21	21	7	1	66
					平均年齢		86.3歳	平均介護度		2.8

全体	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	計
事業対象							2	1		3
要支援1			1		1	4	1			7
要支援2				1	1	3	6			11
介護1					3	13	9	1		26
介護2			1	2	1	3	3	3		13
介護3			1	3	2	3	2	2	1	14
介護4		1		3	1	2	1	1		9
介護5			1	1		1				3
計	0	1	4	10	9	29	24	8	1	86
最高齢	100歳	最年少		67歳	平均年齢		86歳	平均介護度		2.2

デイサービス　令和7年度　実践内容実施報告書

清風会 達成目標	利用者様、職員、地域の三者から選ばれる法人であり続けるために、法人の経営基盤を安定させ、法人の付加価値を高めて地域社会に還元する。 テーマ『ここで煌めく～人や地域をつなぐ力に～』
あいぜんの里 デイサービス 実施目標	利用者様、ご家族、地域の方々から選ばれ信頼される「元気が出るデイサービス」を作って行きます。 ① 個別機能訓練、レクリエーション、音楽療法、トゴール温泉など、様々な活動を選択できます。 ②本人が持つ力や意欲が引き出せるよう様々なニーズを提供します。
重点項目	i　利用したくなる活気のある明るいデイサービスを作る。 ii　チーム機能向上と共に個々のサービス技術が向上する。

		実施・進捗状況	成果が出た事	反省・残された課題	改善策
i	1 **残存機能をいかせるような活動を提供し、心身の活性化に努める** ・ その日に合わせた活動内容を提供 ・ 内容の精査を毎月のデイ会議内で確認する	達成率95% ・その日の利用者や職員の様子に合わせて、活動内容を柔軟に調整しながら実施できた。 ・やりがいがあるような活動を選択し取り組めた。 ・デイ会議内で内容の確認が出来た。 ・職員間で活動内容の共有が不足している事があった。	・自ら行動に出る方が増えている。バラエティーに富んだ活動メニューが増えた。 ・各種活動を通して心身に適度な刺激が加わり、全体的な活性化が見られた。 ・職員間で共有する頻度が増えた。	・細かい所まで内容を考えられなかった。 ・利用者からの要望がもっと聞けるような対応方法を考えていく。 ・会議中の確認でも、より活発に意見が交わせるようにしたい。	・懇談会での聞き取り内容に組み入れる。 ・活動内容について会議やミーティングで確認し、誰でも対応出来るよう共有していく。 ・計画、伝達などの情報共有を確実に行なう。 ・デイ会議での精査だと時間が空いてしまうので、活動ごとに精査を行なう。
	2 **心身・生活機能の維持向上** ・ 個別、集団機能訓練の充実 ・ 機能訓練ミーティングの開催 ・ 会議での共有	達成率100% ・利用者の身体状況、計画に沿って、機能訓練を実施している。　・利用者の意識に変化が見られ、主体的かつ意欲的に参加する利用者が大きく増加した。 ・持病や転倒などにより一部の利用者で機能低下がみられたものの、ほとんどの方は機能の維持・向上が図られた。 ・機能訓練ミーティングを開催し、会議で共有が出来た。	・意欲を引き出す声がけを継続して行った結果、活動への参加姿勢が前向きになり、自ら取組もうとする行動が増えるなど、意欲面でも向上が見られた。 ・自宅でも運動に取り組む利用者が増え、運動の大切さを理解し始めている。 ・ミーティングを通じて各メンバーの目標が共有され、訓練がスムーズに進められている。	・グループ、個別の訓練に消極的な利用者への対応。 ・利用者の求めている事へのアプローチが不足している。 ・映像を使った訓練に頼る事が多くなってしまった。 ・入浴と機能訓練のバランスの検討が必要。	・情報を得るためにヒアリングを常に行なう。 ・生活に密着した動きの訓練を行なう。 ・機能訓練と入浴担当で事前打ち合わせを行ない、個々の希望に沿った対応が出来るようにする。 ・入浴前にマシーンを行ないたい利用者を把握する。
	3 **サービスの質の向上** ・ ３か月に１回利用者懇談会を行い聞き取りを行なう ・ 年度末にアンケートを取る	達成率80% ・会議やミーティングで利用者の対応を検討し共有をしている。 ・事業所内でサービス向上に向けた研修を開催した。 ・3か月ごとの懇談会は行えたが、具体的な対応・改善には結びつかなかった。 ・懇談会では何気ない会話から要望を聞き取る意識をした。	・気づきや困りごとを会議まで待たずに、ミーティングなどで検討、共有できた。 ・研修を通して自己のケアの確認、気付きを促した。 ・普段では把握できないような事を知れ、会話の糸口になった。 ・懇談会を行なうようになってから利用者と職員の距離が縮まりよい信頼関係が構築できた。	・「集団」を相手にしているのではなく、個々に対してのサービス提供の意識をする。 ・口数の少ない方、話の理解が難しい方へのアプローチの工夫が必要。 ・知り得た情報を十分に共有出来ていない部分があった。 ・懇談会の大切さを職員間で共有できていなかった。	・聞き取った内容を分類し、改善点はどのように対応するか等話し合いをする機会を設け、次回にフィードバックするようにする。 ・普段の会話から情報を聞き出し、サービスの向上に取り組む。
	4 **稼働率の安定** ・ 新規利用者の獲得 ・ 目標稼働率７６％	達成率　稼働率70.2%　　達成率92.4% ・体調悪化や介護度の変化に伴い、定期利用者が休止・入院・ロングショート利用になる等、利用人数が安定しなかった。 ・体調不良によるキャンセルが増えている。利用当日のキャンセルも見られた。 〇稼働率 4月75.8%　5月75.4%　6月81.6%　7月79% 8月72%　9月72%　10月70.5%　11月63.7% 12月53.8%　1月64.2%　2月66.2%　3月68.3% 参考：（全国平均68～72%（通常規模））	・定期的に新規利用の申し込みがあった。 ・利用回数の追加等、希望には柔軟に対応している。 ・認知症加算算定に向けた体制の整備を行った。	・多方面に広がる送迎ルートを見直し、より効率的な運行を実現する必要生がある。 ・稼働率（※あとで）% 目標達成には至らなかった。	・送迎ルートの見直しを含め対応職員が、どのルートでも行けるように配車等を行う。 ・利用率向上に向けて、見学、体験利用の促しを行う。 ・振り替え利用の促し、利用中の様子をお知らせする便りなどを発行する。 ・新たな加算算定に向けての検討を行う。 ・加算の要件でもあるケアプラン連携システムの構築に向けた体制を整備する。
	5 **BCPの見直し** ・ 見直し、修正	達成率0% ・見直しの途中であったが、津波警報が出たり、感染症が出た時に、実際にそぐわない場合があった。	・各職員ファイルを確認しようと言う意識があった。	自事業所に合ったもので、整備をしていく必要がある。	早急に整備し、修正を行う。
ii	1 **個々に応じたコミュニケーションやケア** ・ 日々のミーティング ・ ミーティング用紙を活用し、情報を共有する。 ・ デイ会議での共有、ケアの検討	達成率70% ・朝、夕のミーティングでの共有を行なっている。 ・一日何回も用紙を確認するよう申し送っている。 ・新規利用者の情報について事前に情報共有している。 ・デイ会議での共有、ケアの検討を行った。	・会議での発言も増えて来てる。 ・情報は、何かある毎適宜書き足すようになった。	・情報伝達や確認が不十分で、「聞いていない」「見ていない」という職員が複数いた。 ・声の掛け合いが不足している。	・事前の確認を徹底する。 ・検討、共有、徹底、再検討の流れを作る。
	2 **職員の資質向上** ・ 毎月実施内部研修に参加する ・ 全体研修会への参加 ・ 外部研修への参加	達成率80% ・デイ研修、全体研修会への参加、資料での研修を実施した。 ・外部研修の要綱を示し、希望を募った。	・日程がズレる事があったが、ほぼ予定通り実施はできた。 ・参加出来ない職員は資料を見て振り返りをする事ができた。	・全体研修の参加率が低かった。 ・頭で理解していても実際の業務に生かせない時があった。	・キャリア形成に向けた面談を行い研修の意義を伝え研修効果を高める。
	3 **利用者・家族との信頼構築** ・ 送迎時の会話 ・ 連絡帳でのやりとり ・ 各部署との連携	達成率80% ・送迎時、電話、連絡帳での情報共有を実施している。 ・自事業所の職員との情報共有も出来てきている。	・ご家族からも連絡帳への記載や、送迎時、電話で話す機会が増えた。 ・自事業所の相談員と利用者の情報を共有出来た。 ・ケアマネジャーとの連絡も意識して行った。	・記入だけではなく、口頭でも伝えるべき事項の認識不足があった。 ・デイとショートを利用する利用者情報の報告忘れがあった。	・多様な伝え方を学ぶ。 ・家族や関係機関と連携することの重要性について理解を深める。
	4 **ほのぼのシステムの活用** ・ 連絡帳の見直し ・ データの送受信（計画・実績） ・ タブレットの使用	達成率95% ・共有連絡事項が一斉打ち込みを行い、必要に応じて、手書きをするような様式に変更した。 ・ケース入力、日誌打ち出しの勉強会を行った。 ・自施設のデータの送受信が行えている。 ・会議録など、ICT、ＡＩの活用を始めている。	・連絡帳を挟む業務の負担軽減できた。 ・ケース入力、日誌打ち出しが出来る職員が増えた。 ・提供票、計画・実績の伝送を行なう事で、スケジュールの入力作業が軽減できた。 ・会議録作成の効率化が図られた。	・月初めの体重が入力にならない為、手書きが必要だった。 ・手書きで加える連絡事項を忘れる事があった。 ・システム化に伴い、従来のように紙の提供票で他サービスの利用状況を確認することが難しくなった。見落としそうになる事もあった。	・入力時間の確保、担当分けをし作業分担を図る。 ・機器の取り扱いについての勉強会を開催し、取り扱いの定着化を図る。

(3)　デイサービスセンター　活動・行事の実施状況

実施月	活動・行事　内容	実施月	活動・行事　内容
令和7年4月	お花見	10月	運動会
5月	懇談会	11月	懇談会
6月	風鈴工作	12月	忘年会
7月	七夕・向日葵工作	令和8年1月	破魔矢作り
8月	夏祭り懇談会	2月	懇談会
9月	敬老会	3月	曜日対抗ゲーム大会

(4)　デイサービスセンター　会議・研修の開催状況

開催月	研修	会議	
	内容	実施日	内容
令和7年4月	事業計画について	6日	①活動について…前月お楽しみ会の振り返り、今月、次月の活動の確認 ②業務について…利用者対応、業務についての振り返り ③利用者について…入浴、食事、排泄について、新規利用者の確認 ④今月の研修について…全体研修、デイ研修の確認
5月	介護技術	7日	
6月	倫理・法令遵守	30日	
7月	リスクマネジメント	8月1日	
8月	介護技術（入浴）	30日	
9月	介護技術（食事）	30日	
10月	コミュニケーション	31日	
11月	認知症のケアのポイントについて	29日	
12月	感染症対策について	29日	
令和8年1月	身体拘束・高齢者虐待防止	2月2日	
2月	介護予防について	28日	
3月	認知症について	31日	

１６　あいぜんの里居宅介護支援事業所・在宅介護支援センターの事業報告

（1）居宅介護支援事業所運営状況

＜給付管理数＞

◆　予防

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護予防支援	7年度	17	19	18	17	18	15	18	16	15	17	17	19	206
	6年度	14	16	16	18	18	21	17	18	20	18	18	17	211
介護予防ケアマネジメント	7年度	24	25	26	24	22	21	20	20	20	19	19	21	261
	6年度	17	17	20	20	19	19	19	21	22	21	23	23	241
合計	7年度	41	44	44	41	40	36	38	36	35	36	36	40	467
	6年度	31	33	36	38	37	40	36	39	42	39	41	40	452

◆　要介護

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	7年度	32	32	35	38	40	39	41	39	38	41	43	45	463
	6年度	31	32	29	25	26	30	32	31	29	31	32	32	360
要介護2	7年度	23	22	23	18	18	19	14	16	14	15	14	15	211
	6年度	25	26	26	31	29	30	27	24	24	26	23	26	317
要介護3	7年度	18	15	14	17	16	16	15	17	14	13	11	15	181
	6年度	13	12	12	14	15	16	16	15	17	17	14	17	178
要介護4	7年度	10	11	11	11	10	11	11	12	12	11	13	11	134
	6年度	3	7	6	6	6	7	9	9	11	10	11	11	96
要介護5	7年度	2	2	2	2	4	4	5	4	4	2	3	4	38
	6年度	3	3	4	4	3	3	5	2	5	3	2	2	39
合計	7年度	85	82	85	86	88	89	86	88	82	82	84	90	1027
	6年度	75	80	77	80	79	86	89	81	86	87	82	88	990

＜その他＞

居宅サービス計画作成依頼書受付件数	39件
認定調査件数	4件
介護支援専門員数	3名

※令和7年10月1日から4名⇒3名体制

(2)在宅介護支援センター運営状況・地域支援の取り組み

◆相談総数

25件　（別紙　様式2「相談状況報告書」参照）

◆高齢者現況調査件数

23件

◆認知症サポーター養成講座の開催

年　月　日	内　　容	学年	人数	場　所
令和7年7月9日	認知症サポーター養成講座（大平中学校）	3年生	18名	大平中学校
令和7年8月27日	認知症サポーターステップアップ講座（〃）	3年生	18名	大平中学校
令和7年9月1日	認知症サポーター養成講座(白山小学校)	3,4年生	14名	白山小学校
令和7年9月12日	認知症サポーター養成講座（唐丹小学校）	3,4年生	12名	唐丹小学校
令和7年9月28日	認知症サポーター養成講座（平田小学校）	3,4年生	12名	平田小学校

◆福祉学習支援

【大平中学校】

年　月　日	内　　容	学　年	人数	場　所
令和7年5月20日	大平ソーランの披露	3年生	18名	あいぜんの里
令和7年5月23日	ノーマライゼーション	1年生	23名	大平中学校
令和7年5月28日	車いす操作、シーツ交換実技	2年生	34名	〃
令和7年6月2日	第30回つながるカフェ企画・運営の導入授業	3年生	18名	〃
令和7年6月9日	コミュニケーション	1年生	23名	〃
令和7年6月11日	第30回つながるカフェ企画・運営準備作業	3年生	18名	〃
令和7年6月17日	第30回つながるカフェ準備（買い物等）	3年生	4名	薬王堂平田店
令和7年6月17日	あいぜんの里夏祭りボランティア導入授業	1年生	23名	〃
令和7年6月30日	第30回つながるカフェ企画・運営	3年生	18名	上平田ニュータウン集会場
令和7年7月4日	夏祭りボランティア	1年生	23名	あいぜんの里
令和7年7月9日	認知症サポーター養成講座	3年生	18名	大平中学校
令和7年8月28日	認知症サポーターステップアップ講座	3年生	18名	〃
令和7年9月10日	価値観学習	2年生	34名	〃
令和7年10月28日	チームオレンジ交流会にて認知症劇の披露	3年生	18名	釜石PIT

【唐丹中学校】

年　月　日	内　　容	学　年	人数	場　所
令和7年6月25日	福祉ボランティア活動	2、3年生	19名	あいぜんの里
令和7年8月4日	夏休みボランティア体験	1～3年生希望者	6名	〃
令和7年10月9日	大石虎舞の披露	全校生徒	31名	〃

【釜石商工高等学校】

年　月　日	内　　容	学　年	人数	場　所
令和7年7月1日	第32回つながるカフェ企画・運営の導入授業	1～3年生希望者	14名	釜石商工
令和7年7月9日	第32回つながるカフェ準備作業	〃	13名	〃
令和7年7月29日	第32回つながるカフェ準備作業	〃	12名	平田地区生活応援センター
令和7年8月6日	第32回つながるカフェ企画・運営	〃	14名	〃
令和8年1月8日	第38回つながるカフェ企画・運営の導入授業	〃	17名	釜石商工
令和8年2月3日	第38回つながるカフェ準備作業	〃	8名	平田地区生活応援センター
令和8年2月21日	第38回つながるカフェ準備作業（買い物等）	〃	1名	薬王堂/応援センター
令和8年2月23日	第38回つながるカフェ企画・運営	〃	10名	平田地区生活応援センター

【祥雲支援学校中学部】

年　月　日	内　　容	学年	参加者	場　所
令和7年9月22日	利用者との交流・清掃活動	1～3年生	9名	あいぜんの里

◆つながるカフェの開催

年　月　日	内　　容	参加者	場　所
令和7年5月26日	第29回　祥雲支援学校中学部との交流	10名	平田地区生活応援センター
令和7年6月30日	第30回　平田こども園との交流　/　大平中3年生による企画・運営	26名	上平田ニュータウン集会所
令和7年7月28日	第31回　楽しく学ぼう！薬剤師さんのお薬教室	6名	尾崎白浜集会所
令和7年8月6日	第32回　縁日風カフェ　/　釜石商工PEACEによる企画・運営	24名	平田地区生活応援センター
令和7年9月29日	第33回　大平中学校１年生とニュースポーツで交流	23名	大平中学校体育館
令和7年10月8日	第34回　寺田先生による健康に関する講話	16名	上平田ニュータウン集会所
令和7年11月25日	第35回　大平中学校3年生による認知症劇のビデオ鑑賞	20名	上平田ニュータウン集会所
令和7年12月17日	第36回　智田邦徳先生による音楽療法	7名	尾崎白浜集会場
令和8年1月26日	第37回　漁火の会による昔話	22名	上平田ニュータウン集会所
令和8年2月23日	第39回　もちつき交流　／　釜石商工PEACEによる企画・運営	22名	平田地区生活応援センター

◆プラットホーム会議（つながるカフェについての定例会）

年　月　日	内　　容	出席者	場 所
令和7年4月28日	令和7年度のつながるカフェについて	サポーター、平田地区生活応援センター所長、社協コーディネーター、清風会職員	平田地区生活応援センター
令和7年4月30日	つながるカフェ、地域課題などの検討	寺田理事、平田地区生活応援センター所長、清風会職員	あいぜんの里
令和7年5月28日			
令和7年7月2日			
令和7年8月27日			
令和7年10月1日			
令和7年12月3日			
令和8年1月28日			

令和8年1月13日	令和8年度つながるカフェ及びあいぜんの里・学校間の交流等について	釜石商工、祥雲支援学校、大平中、平田小、平田こども園、平田地区生活応援センター所長、社協コーディネーター、清風会職員	平田地区生活応援センター
令和8年3月27日	令和7年度つながるカフェ反省会	サポーター、平田地区生活応援センター所長、社協コーディネーター、清風会職員	あいぜんの里

◆チームオレンジ交流会

年　月　日	内　　容	出席者	場 所
令和7年10月28日	つながるカフェにおける地域づくりについて（講演）	所長、管理者	釜石PIT

◆その他

年　月　日	内　　容	出席者	場 所
令和7年11月26日	第14回健康長寿をのばそうアワード　老健局長優良賞受賞式	所長	東京サンケイビル

令和7年度　相談状況報告書

事業所名　あいぜんの里在宅介護支援センター

相談総数	新規	電話	来所	訪問	面会	その他
25	13	5	5	15		

独居	高齢者世帯	家族と同居	施設入所	その他
9	5	5	3	3

区分	相談内容	のべ件数	要介護度等					再掲			
			要支援	要介護	申請中	自立	その他	身障	精神	知的	認知
1	介護に関する相談（申請・介護疲れ等家族の悩み）	11		3	2	6					
2	認定調査及び認定結果に関する相談										
3	住改修や福祉用具等に関する相談	5		1	2	2					
4	健康に関する相談（自分や家族の体が心配）	2			1	1					
5	施設の入退所に関する相談	5		5							1
6	医療に関する相談（受診・入退院に関して）	6		4	1	1					
7	権利擁護事業に関する相談										
8	成年後見制度に関する相談	4		4							
9	虐待に関する相談										
10	介護保険外の諸制度に関する相談（身障・知的・精神等）	1		1							
11	経済的な相談（税金の未納・年金・借金等）	1				1					
12	家族間の悩みに関する相談（金銭トラブル等も含む）										
13	苦情に関する相談										
14	財産に関する相談（土地・住宅）										
15	認知症に関する相談										
16	精神症状に関する相談										
17	一般的な問い合わせ	1				1					
18	状況確認（見守り）										
19	住宅に関する相談	2		2							
20	介護離職に関する事										
21	その他										
	合計	38		20	6	12					1

あいぜんの里在宅介護支援センター　令和7年度実践内容実施報告書

清風会 中長期計画 達成目標	利用者様、職員、地域の三者から選ばれる法人であり続けるために、 法人の経営基盤を安定させ、法人の付加価値を高めて地域社会に還元する。 テーマ『ここで煌めく～人や地域をつなぐ力に～』
あいぜんの里在宅介護支援センター 実施目標	地域住民が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう包括的な支援を目指しします。 Ⅰ　地域活動拠点として機能するよう推進します。 Ⅱ　誰もが住みよいまちづくりの取り組みを行います。 Ⅲ　利用者様の自立支援を目的とした質の高いケアマネジメントを目指します。
重点項目	ⅰ　住み慣れた地域で安心して生活ができる支援体制づくり ⅱ　地域の担い手づくり ⅲ　ケアマネジメントの質の向上

	実践計画	実践ﾘｰﾀﾞｰ	実施・進捗状況	成果が出た事	反省・残された課題	改善策
ⅰ	1 **総合相談** ・釜石市地域包括支援センター（生活応援センター）と連携し、生活に関する困りごとへの相談受付、制度に関する情報提供等ワンストップの相談支援を行う。 ・高齢者実態調査の実施報告、関係機関と連携して困難事例への対応を行う。	所長	達成率100% 相談受付を行い、関係機関と連携しながら困りごとや困難事例への対応を行った。高齢者実態把握については計画に沿って実施した。	総合相談における連携の在り方の重要性についても理解することができた。	総合相談窓口としての質向上の具体的な取り組みまでは実施できていない。	外部研修やネットワーク会議等へ参加し、相談援助技術の向上を図る。
	2 **地域ニーズの把握** ・つながるカフェ参加者に対してニーズを実施する。 ・ケースワークの中での困難事例等から潜在的な課題を探る。	所長	達成率100% つながるカフェでの聞き取りやアンケートにより参加者からのニーズ調査を実施した。	個々が感じている生活上のニーズを拾うことにより地域課題が明確になってきている。	支援を必要とする人が埋もれてしまわないような取り組みを継続的に行っていくことが必要。	多職種、他機関との連携強化、カフェでの相談窓口の設置等により、地域ニーズに対する取り組みを継続的に行う。
	3 **「つながるカフェ」の開催** 他機関と連携しカフェを開催し、総合相談、学び、生活支援、見守り、交流、人材育成の機能を果たす。地区ごとのサポーター、関係機関と連携しながらカフェの開催を行う。	所長	達成率100% 3つの地区や学校を会場としながら予定通りの回数を開催できた。今年度は中学生の企画運営や運動に関する内容、高校生の参加による食の提供についても実施することができた。	地域の方々の交流の拠点となり、地域資源としての認知度が高まっている。サポーターの人数も増え、役割を認識しながら活動できている。	事業を通して将来を担う人材の育成や確保につながるよう、継続的に実施していくことが必要。	地区ごとに新規サポーターの参加促進を図る。また、内容の充実を図り満足度を高めたい。
ⅱ	1 **「福祉学習」の支援** 釜石市立大平中学校、平田小学校で「福祉学習」を行い、ノーマライゼーションの理解を広め、将来のまちづくりを担う子どもたちを育成する。	所長	達成率100% 学習、交流とも予定通り開催でき、その一環として中学生のつながるカフェへの企画・運営に携わる計画を実施することができた。	3年生は福祉学習の集大成として認知症サポーター交流事業の場で認知症劇を披露し、1、2学年は座学での学びをコミュニティカフェなどの交流の場で実践、福祉に関する知識や意識が高まっている。	福祉学習の重要性や今後の展望について、学校側との共通認識を深めていくことが必要。	学習内容のブラッシュアップ、他校への横展開など関係機関と協議しながら、法人内でも役割を継承しながら継続的に取り組む。
	2 **認知症サポーター養成講座の開催** 認知症になっても住み慣れた地域で最後まで生活ができるよう、地域住民、小中学校などで認知症サポーター養成講座を開催し地域の中に認知症サポーターを養成する。	所長	達成率100% 小中学生対象に認知症サポーター養成講座、ステップアップ講座を実施した。地域での活動としては、市と協力して唐丹地区で講座を開催した。	講座を通して関係機関との連携を図ることができている。	まだ開催していない地区での活動を検討するなど、認知症サポーターの養成に対する協力体制を継続することが必要。	大平、嬉石、松原地区での開催を検討する。行政や民生委員、地域の関係者と連携しながら取り組んでいく。
ⅲ	1 **介護支援専門員の質の向上** ・個々の目標に沿った研修に参加し、より専門的な知識や技術を学ぶ。 ・事例検討会やケース検討（終了ケース振り返り）、ケアプラン点検を開催する。 ・他事業所、利用者からサービス評価を受ける。	管理者	達成率80% 個々の目標に沿った外部研修や事例検討会へ積極的に参加し、知識や技術を得ることができた。サービス評価については実施できなかったが、ケアプラン点検を通して、規定通りの内容で実施できているかどうかの確認ができた。	研修や事例検討を通して新たに得た知識や考え方スキルなどを業務に活かすことができている。	困難ケースについてはミーティングや定例会議で検討するなど情報共有はできているが、検討した内容を実践につなぎ、継続的に状況把握をしていく必要がある。	ケアプランについて、目的に沿っているか、意向の反映が適切になされているか等、質や内容について深める機会を持つ。
	2 **関係機関との連携強化** 退院時のカンファレンスや地域ケア会議等へ参加し、医療機関やインフォーマルサービスを含めたサービス提供者と情報共有しながら、多職種でのチームケアを提供する。	管理者	達成率80% 地域ケア会議は予定通り参加、退院時カンファレンスは感染症等の影響で機会は少ないものの開催されたものについては出席し、それ以外の場合は書面等を活用しながら連携を図ることができている。	地域ケア会議では様々な職種の方や地域の支援者の意見を聞きながらケアの方向性を検討でき、日頃の業務の参考になった。	緊急等十分な状況把握ができない状況で支援しなければならないことも多々あり、連携のあり方について検討が必要。	関係機関との連絡調整や情報共有を徹底し、必要とされる支援が確実に提供できるようにする。
	3 **給付管理数の確保及び安定した経営**（目標：要介護85ケース） ・担当目標件数を達成できるよう、新規プラン作成を積極的に受け入れるとともに、1人1人丁寧に関わり、適切なケアマネジメントを提供する。 ・制度に沿ったケアマネジメントができるよう業務マニュアルの検討を行う。	管理者	達成率99.3% 依頼があった場合には断ることなく受け入れ、目標の給付件数は概ね達成できている。業務マニュアルの検討は実施できなかった。 実績：要介護ケース数 4月84、5月82、6月84、7月85 8月87、9月87、10月84、11月86 12月82、1月82、2月82、3月88	丁寧な対応を心掛け、苦情受付はなかった。特定事業所、通院や入退院にかかる連携加算は漏れのないように取得できている。 常勤１の担当ケース平均28.2人（要支援1/3でカウント） 参考：常勤1の担当ケース、全国平均で27～30人	入院後在宅復帰困難による入所や終末期が近い状況での関わりが増え、短期間でケース終了する傾向があり給付数の増加が難しい。	安定して在宅生活が続けられるよう適切にケアマネジメントを実施していく。また、将来的な介護給付を見込んで介護予防受託数を増やす。

(4) あいぜんの里在宅介護支援事業所・在宅介護支援センター事業所内
研修開催状況

開催年月日	研　修　内　容
令和7年5月19日	認知症の人の意思決定支援
令和7年7月22日	合同事例検討会
令和8年1月 6日	ケアマネジメント
令和8年3月17日	釜石市つながる研修会伝達研修

◆ あいぜんの里居宅介護支援事業所・在宅介護支援センター定例会議開催状況

開催年月日	主　な　議　題　等
令和7年 4月11日	各ケアマネ進捗状況報告、在介業務報告、管理職から
令和7年 5月12日	
令和7年 6月11日	
令和7年 7月11日	
令和7年 9月 8 日	
令和7年10月 9日	
令和7年11月11日	
令和7年12月8日	
令和8年 1月 9 日	
令和8年 2月10日	
令和8年 3月10日	

令和７年度　安全衛生委員会　活動報告

≪活動目標≫

社会福祉法人清風会が運営する各事業所の労働環境の改善と事故・疾病等の予防のため、安全衛生委員会規程に基づく安全衛生管理活動を円滑に推進する。

≪重点目標≫

(1)長時間労働の原因や高ストレスの要因を分析し措置を講ずることによりメンタルヘルス不調による休職者を発生させない。
(2)業務作業手順の見直しに関する動機付けを行い、見直しから周知までを習慣化していくことにより労働中の事故を発生させない。
(3)職場環境の保全を図るための 5S 活動(整理、整頓、清掃、清潔、躾け)を推進する。
(4)安全衛生教育(腰痛防止、セルフケア、ラインケア、新人研修、復職時研修等)を充実させる。
(5)メンタルヘルス不調の兆候や対応について学ぶ。

≪活動計画≫

月	項目	内容等	実施結果
4	①安全衛生委員会の開催 ②産業医による巡視	① ・前月の活動反省並びに翌月の活動の確認 ・安全衛生委員会規程第 2 条(調査審議事項)の各事項に関する調査・審議 安全衛生委員会委員が同行、確認	①4/17 開催 ・衛生管理者より労働災害発生状況（釜石労基署発行）の提供があった。 ・産業医よりこの時期は配置転換や新入社員等でインシデントやヒヤリハットが多くなる時期なのでしっかり報連相でコミュニケーションをとり事故を未然に防止できる体制で慎重業務にあたってほしいとの話があった。 ②事務室：指摘事項なし。
5	①安全衛生委員会の開催 ②産業医によるミニ勉強会	① ・前月の活動反省並びに翌月の活動の確認 ・安全衛生委員会規程第 2 条(調査審議事項)の各事項に関する審議・審議 安全衛生委員会委員対象	①5/22 開催 労働災害の報告 1 件（4/19）：業務中利用者からの暴力。次の日に病院受診。 ②内容：利用者からの暴言と暴力への対応について。

6	①安全衛生委員会の開催 ②産業医による巡視 ③労働災害事故撲滅月間 ④ストレスチェック	① ・前月の活動反省並びに翌月の活動の確認 ・安全衛生委員会規程第2条(調査審議事項)の各事項に関する審議・審議 ②安全衛生委員会委員が同行、確認 ③ポスター等作成・掲示(環境整備) ④全職員対象(入職1年未満の準職員を除く)	①6/19 開催 労働災害報告1件 (5/3):業務中の転倒。 ②支援:指摘事項なし ③ポスター掲示をした。「つもりがつもって事故のもと」作成担当:デイサービス ④ストレスチェック実施72名実施。未提出1名。
7	①安全衛生委員会の開催 ②産業医によるミニ勉強会 ③定期健康診断 ④ハラスメント研修	① ・前月の活動反省並びに翌月の活動の確認 ・安全衛生委員会規程第2条(調査審議事項)の各事項に関する審議・審議 ②安全衛生委員会委員対象 ③全職員対象(協会けんぽ一般健康診断、一般健康診断) ④対象者　主任以上、希望者 (講師:藤井　由里 臨床心理士)	①7/17 開催 熱中症の報告が数件あったことも含め、業務中の熱中症対策として、各部署に水分補給用の飲料水を配布しているので、こまめに水分補給するようにと話があった。 ②内容:発達障害の特性について。 ③定期健康診断実施 7/2　73名　8/23　3名 8/29　2名　計78名 (岩手県の取り組みとして肝炎ウイルス検査も全職員実施した。) ④講師の都合により、8/28 へ開催日を変更した。
8	①安全衛生委員会の開催 ②産業医による巡視	① ・前月の活動反省並びに翌月の活動の確認 ・安全衛生委員会規程第2条(調査審議事項)の各事項に関する審議・審議 ②安全衛生委員会委員が同行、確認	①8/21 開催 ストレスチェックの結果について分析表の配布があった。 ②デイサービス:指摘事項なし。 ○8/28　ハラスメント研修開催 対象:副主任以上と希望者 内容:ハラスメントに対する対応について ・職場間や上司からのハラスメントについて相談を受けた際の対応

			・利用者や利用者家族から受けるハラスメントへの対応について
9	①安全衛生委員会の開催 ②産業医によるミニ勉強会	① ・前月の活動反省並びに翌月の活動の確認 ・安全衛生委員会規程第2条(調査審議事項)の各事項に関する審議・審議 ②安全衛生委員会委員対象	①9/18 開催 衛生管理者より 7 月の健康診断の結果について、脂質異常や高血圧の傾向がみられることと、これらの症状を放置すると脳卒中等のその他の病気の発症リスクが高まるのこと、各自健康診断の結果を踏まえ医療機関への受診勧奨の話があった。 ②内容：癌について
10	①安全衛生委員会の開催 ②産業医による巡視	① ・前月の活動反省並びに翌月の活動の確認 ・安全衛生委員会規程第2条(調査審議事項)の各事項に関する審議・審議 安全衛生委員会委員が同行、確認	①10/31 開催 産業医より、インフルエンザ他感染症の発生が増えてきているので、各自感染対策の徹底をするように話があった。 ②特養：指摘事項なし
11	①安全衛生委員会の開催 ②産業医によるミニ勉強会	① ・前月の活動反省並びに翌月の活動の確認 ・安全衛生委員会規程第2条(調査審議事項)の各事項に関する審議・審議(主にストレスチェック結果分析、措置に関すること) ②安全衛生委員会委員対象	①衛生管理者より労働災害発生状況（釜石労基署発行）の提供から過去の転倒事例が共有され注意喚起がなされた。 副施設長より、免疫力向上のための生活習慣の資実践の推奨と資料提供があった。 ②内容：喫煙のリスクについて ○全世代向け歯科健康診査実施　希望者 19 名
12	①安全衛生委員会の開催 ②産業医による巡視 ③労働災害事故撲滅月間Ⅱ	① ・前月の活動反省並びに翌月の活動の確認 ・安全衛生委員会規程第2条(調査審議事項)の各事項に関する審議・審議	①12/4 開催 4 月～11 月までの活動反省と次年度の活動計画について協議を行った。 ②ユニット：パブリックの消火器前にテーブルが置かれているとと、テー

		・4 月～11 月までの活動反省 ・次年度の活動計画協議、作成 ② 安全衛生委員会委員が同行、確認 ③ ・冬期間の安全運転講習会(防災・車両の安全運行委員会と共催) ・ポスター等作成、掲示(交通安全)	ブルの配置を変えるよう指摘を受けた。 ③12/17 開催 防災・車両の安全運行委員会と共催で雪道と凍結道路の走行について資料提供をもとに研修を行った。 ・ポスター作製、掲示 担当：特養「急がない、焦らない、無理しない」
1	①安全衛生委員会の開催 ②産業医によるミニ勉強会 ③定期健康診断	① ・前月の活動反省並びに翌月の活動の確認 ・安全衛生委員会規程第 2 条(調査審議事項)の各事項に関する審議・審議 ②安全衛生委員会委員対象 ③全職員対象（一般検診)	①1/15 開催 衛生管理者より道路交通法改正についての資料提供があった。 ②内容：ヒートショックについて ③定期健康診断（特定業務健診）実施。 1/19　68 名（未受診者は予備日で調整）
2	①安全衛生委員会の開催 ②産業医による巡視 ③作業手順の見直し ④メンタルヘルスケア研修	① ・前月の活動反省並びに翌月の活動の確認 ・安全衛生委員会規程第 2 条(調査審議事項)の各事項に関する審議・審議 ②安全衛生委員会委員が同行、確認 ③業務に係る作業手順の見直しを各事業所へ ④全職員対象 （講師：藤井悠　産業医　）	①2/19 開催 ②医務室：指摘事項無し 給食：指摘事項無し ③各事業所の業務に係る作業手順の見直しを指示した。 ④日程調整がつかず今回は実施を見送った。 ○定期健康診断(特定業務健診）予備日 釜石職業訓練協会にて実施。2/6　5 名
3	①安全衛生委員会の開催 ②産業医によるミニ勉強会	① ・前月の活動反省並びに翌月の活動の確認 ・安全衛生委員会規程第 2 条(調査審議事項)の各事項に関する審議・審議 ・次年度事業、委員会構成員について	①3/19 開催

		②安全衛生委員会委員対象	

＜活動反省と次年度への課題＞

・労働中の事故を防ぐためにも業務作業手順の見直しに関する動機付け、見直しからの周知迄の習慣化を継続して行っていく必要がある。
・メンタルヘルス研修は今年度日程調整がつかなかったので次年度はきちんと研修の場を設けたい。
・昨年度から始めた産業医によるミニ勉強会は、ポイントを押さえて回数を重ねて繰り返していく必要があるので次年度も継続して行う。

令和７年度　研修委員会　活動報告

≪活動目標≫

・基本理念である、利用者様に対して「優しく・温かく・明るく」サービス提供ができる職員を育成する。

≪重点目標≫

・法人職員として、一人一人のスキルアップを目指すために「全体研修会」「各部署研修会」を開催し、施設サービスの平準化を図る。

≪活動計画≫

項　　目	内　　容	実施結果
1. 研修会の開催	・全体研修会 利用者様の生活を高めるケアの質改善に向けた研修会を開催し、求められる基本的な知識・技術の習得を図る。	日程調整を行いなが計画していた内容は実施することができた。 ≪次年度の課題として≫ 毎年の課題ではあるが、参加者が少なため、実施方法の検討を行いたい。
	・各部署研修会 研修内容に沿って利用者様のケア方法の問題点が改善でき、求められる知識・技術の再確認を行うことでサービスの質の向上を目指す。	各部署計画通り実施できた。

≪　全体研修会 実績　≫

月	研　修　内　容	講　師（担当）	実　施　結　果
4	令和７年度事業計画について 理事長講話	法人事務局	全体会議として開催 4 月 15 日
5	身体拘束・虐待防止について	身体拘束委員会	集合研修として開催 5 月 21 日
6			
7			
8	職場におけるハラスメント	安全衛生委員会	集合研修として開催 8 月 18 日

9	感染症に係る業務継続計画 災害に係る業務継続計画	感染症対策委員会 防災委員会	集合研修として開催 9 月 17 日
10	リスクマネジメント （事故発生時・救急時の対応・再発防止について）	安全対策委員会	集合研修として開催 10 月 15 日
11	感染症又は食中毒の予防及びびまん延防止について	感染症対策委員会 給食委員会	集合研修として開催 11 月 19 日
12	・冬の雪道安全運転について	防災委員会	集合研修として開催 12 月 17 日
1	プライバシーの保護について	研修委員会	集合研修として開催 1 月 12 日
2	ストレスマネジメントについて	安全衛生委員会 研修委員会	資料配布
3			

令和７年度　広報委員会　活動報告

≪活動目標≫

利用者の人権・人格を尊重した上で広報「清風」を発行し、あいぜんの里を広く伝える。

≪重点目標≫

・ご利用者の行事での様子や、クラブ活動での様子をご家族や外部に伝える。
・委員会や各事業所などの取り組みを通して施設の様子を伝える。
・ボランティアや地域との連携を伝える。

≪活動計画≫

・初夏号、秋号、早春号　年３回の広報紙「清風」を発行する。
・施設入所者の「担当より一言」「写真」を同封する。
・「医務・栄養だより」「状況によりボランティア紹介」「寄付・寄贈紹介」「つながるカフェ」「支援センターだより」「機能訓練だより」「新入職員紹介」は随時掲載とする。
・インシデントは別紙で添付する。

月	内容	実施結果
５月	第１回広報委員会	・新委員会顔合わせ ・年３回発行を確認した。 ・初夏号の内容協議
７月	「初夏号」発送	インシデント統計（前年度）添付
10 月	第２回広報委員会	・秋冬号の内容の協議
12 月	「秋冬号」発送	インシデント統計（前年度）添付
１月 ２月	第３回広報委員会予定	・早春号の内容の協議 ・今年度の反省 ・次年度の活動計画
３月	「早春号」発送（予定）	

≪活動反省と次年度への課題≫

・予定通りに委員会の開催ができなかった。
・日頃から写真を撮りため、各委員の写真の選択が良かった。
・印刷所の製作担当者にもレイアウト、修正を依頼し、毎号楽しい広報ができた。
・広報を折らずに発送できるようになり、各ご利用者の顔に折り目が付かず発送できた。発送準備作業もスムーズにできた。
・次年度は、委員会を定期的に開催できるよう、スケジュール管理を徹底する。

令和７年度　感染症対策委員会　活動報告

≪活動目標≫

感染管理活動の基本となる委員会として、感染予防及び再発防止対策並びにクラスター発生時の迅速な対応等、施設における対策体制を確立し適切かつ安全で質の高い支援を行う。

≪重点目標≫

1. 施設内全般の衛生管理の徹底。
2. 感染症や食中毒の予防及びまん延防止のための対策を検討し、介護職員その他の職員に周知徹底を図る。
3. 感染症や食中毒の予防及びまん延の防止のための指針やマニュアルの見直しを行う。
4. 感染症や食中毒の予防及びまん延の防止のための研修、訓練を定期的に実施する。
5. 委員会の定期及び随時の開催

≪活動計画・反省≫

項　　目	内　　容	実施結果
1. 衛生管理について ①標準予防策の徹底 ②加湿器設置・撤去 ③介助時における衛生管理	①出勤時の職員の体温チェック、標準予防策の周知徹底。 ②加湿器は例年11月に設置、５月に撤去しているが、状況に合わせて設置、撤去を指示する。 ③食事や排泄介助時等のルールを徹底させる。	①②③安全衛生委員会並びに主任者会議において呼びかけを実施。 ・体温チェックは全部署実施できた。 ・加湿器は床暖房開始、停止時に併せて実施した。 ・予防策、ルールも随時注意喚起した。
2. 感染症予防・まん延防止対策	・ノロキットの確認並びに交換 ・次亜塩素酸水やディスポ予防衣等の必要物品、消耗品の確認。 ・各部署での感染対策の実施状況の把握と評価、改善点を検討する。	・ノロキットの設置状況、必要物品の点検を実施した。 ・消耗品等については、事務職員が速やかに購入、補充した。 ・各部署の感染対策状況の把握等については委員会開催に合わせて実施。出勤時の検温をまれに忘れる者もいたが対策は概ね良好と評価。 ・クラスターの発生もなく経過した。

3. 指針、マニュアル等の整備	・ノロ、インフルエンザ、MRSA、疥癬、褥瘡予防対策等に係るマニュアルの見直しを行う。 ・新興感染症対策の検討・周知、マニュアルの作成 ・感染症発生時における事業継続計画（BCP）見直し及び周知を行う。	・マニュアルの見直しは感染対策担当を中心に実施。次年度以降も継続して取り組む。 ・BCP の変更なし。次年度以降も継続して取り組む。
4. 研修、訓練の実施	・指針やマニュアルに基づく研修、実技の実施。 ・BCP による研修、訓練の実施。	・BCP 訓練については、9 月に、感染症等の予防・まん延防止研修については 11 月に、集合研修会として実施した（ノロキットを用いて予防衣等の着脱から吐物処理までの実技を実施)。
5. 委員会について	・感染症や食中毒等の情報を関係医師、関係各機関から収集し、会議、研修会、掲示板等を通して周知を図る。 ・おおむね 3 ヶ月に 1 回以上の開催とし、必要に応じて委員長が招集することとする。	・感染症等の情報については安全衛生委員会にて産業医等を通じて収集、参加委員が各部へ周知した。 ・委員会は、5/1、7/1、10/1、1/13、2/12 の 5 回開催した。

令和７年度　安全対策委員会　活動報告

≪活動目標≫
・事故（医療事故、介護事故、苦情等）発生の防止及び再発防止のための対策を検討する。
・安全で適切な質の高いケアを提供する体制の整備を行う。
・各部署、各委員会と連携を取り職員個々の安全に関する気付きを促進する。

≪重点目標≫
・事故報告書作成マニュアルの作成、既存マニュアル及び指針の見直しを行い、全職員へ周知する。
・各部署で事故報告書の内容を確認し、今後の対応策等について周知を図る。
・重大な事故が発生した場合、困難事例に関しては随時委員会を開催し、事故分析、改善策の検討を行う。
・福祉用具の計画的な点検の実施、及び修繕等の迅速処理ができる体制を確立し、使用者が安心・安全に使用できる。
・ヒヤリハット報告書並びに事故報告書の活用等に係る啓蒙活動又は研修により職員個々のスキルアップを図る。

≪活動計画≫

	項　　目	実　施　内　容　等	実　施　結　果
各部署	・事故内容の分析と改善策の協議	・事故報告書をもとに、要因を分析し改善策を検討、職員へ周知する。	・従来棟での事故報告書を提出し委員内で改善策などを話し合った。

項　　目	実　施　内　容　等	実　施　結　果
１、情報公開	・広報、ホームページへの情報 ・資料を作成し、広報で公開する。 初夏号 　前年度の事故データ集計 秋号 　上半期の事故データ集計 新春号 　下半期の事故データ集計	・秋号の広報発送時、上半期事故データを集計したものを添付し発送できた。ご家族様への公開できた。

2、福祉用具の点検	・施設整備担当を中心に通年で、車イスやベッド、入浴機器等の福祉用具の点検を実施し、状況に応じて修理、廃棄依頼を行う。	・6月から8月の間に車椅子やベッド等の点検を行った。また、必要時には修理を行った。
3、指針、マニュアル等の整備	・事故報告書作成マニュアル、既存マニュアル及び指針の見直しを行い、必要に応じて改正、提案を行う。	・指針、マニュアルの確認できず。次年度へ繰越となる。
4、研修会の実施	・研修委員会と調整し、リスクマネジメント研修会(全体・各部署)を実施する。	・全体研修会は10月15日に開催し、各部署研修会は従来棟6月20日、ユニット12月14日、デイサービス7月25日に開催し、リスクについて振り返る事ができた。
5、事故内容の分析	・各部署からあがった困難事例、重大事故に対しての要因を分析し改善策を検討する。	・事故報告書を参考に、発生状況も分析し、今後同じ事故が起きない為に検討した。 ・職員に改善策を周知してもらうために事故報告書の再確認を行った。 ・事故報告書の発生状況の詳しい書き方や事故報告書の目的などについては文書配布した。

令和７年度　高齢者虐待防止検討委員会　活動報告

≪活動目標≫

利用者の尊厳の保持、人格の尊重を重視し、身体拘束廃止委員会との協働によって虐待の防止に取り組むとともに、虐待の早期発見、早期対応、再発防止策の検討・協議を行い、虐待のない施設環境づくりを行う。

≪重点目標≫

１　利用者が尊厳に満ちた生活を営むことができるよう、職員の虐待防止に対する意識並びに知識を向上させる。

２　虐待の疑いのある事案や支援内容等に問題がある場合は、関係各委員会と共同で会議を開催し改善を図っていく。

主な取り組み内容

１　啓発・意識向上への取組（気づき・振り返りの機会を作る）

２　研修会の開催

３　指針等の見直し

４　調査、検討

≪活動計画≫

月	項目	内容	実施結果
４月	委員会の開催	・活動計画の確認 ・役割分担 ・不適切ケア等の確認 他	・活動計画の内容を確認し、今年度の委員会開催時期を協議。 ・各部署担当や進行・記録等の役割分担を選定。 ・全体研修会の担当者２名の選定。
５月	研修会の開催	全体研修会 ・高齢者虐待防止、身体拘束適正化に関する研修	5/21 高齢者虐待防止、身体拘束適正化に関する全体研修会を開催
６月	指針等の見直し	指針、マニュアルの見直し	時期はずれこんだが、委員会開催時に指針内容を確認、『市町村への通報』に関して、名称変更し見直しを行なった。
７月	委員会の開催	不適切ケア等の確認 他	各ケア等の確認の中で事故に関して時間の不詳や

			記録がない怪我があり、職員の気づきやケース記録に画像添付する等情報共有の方法を検討した。
８月	啓発・意識向上への取組	虐待の芽チェックの実施	虐待の芽チェックリストを全職員対象に配布・回収。70 名　90%
９月	啓発・意識向上への取組	啓蒙ポスターの作成、掲示	委員で虐待・拘束に関するポスターを作成し、各部署にて掲示した。
10 月	委員会の開催	・虐待の芽チェック実施後の協議 ・不適切ケア等の確認 他	虐待の芽チェックリスト集計結果を共有。働きづらさやケアの質改善が課題と評価が低かった。課題に対して具体的な取り組みの検討が必要
12 月	調査、検討	意識調査アンケートの実施	
１月	委員会の開催	意識調査後の協議、不適切ケア等の確認　　他	
随時	研修会の開催、 臨時委員会	採用時研修・部署内研修 虐待事案等の対応協議等	

・　身体拘束廃止委員会と合同開催し、今後一委員会として統合すべく取り組んでいく。

令和７年度　身体拘束廃止委員会　活動報告

≪活動目標≫

利用者様が安全で尊厳ある生活を送れるようにするため、法人全体で身体拘束の廃止に向けた取り組みを推進、適正なケアを確立して身体拘束ゼロの施設を目指す。

≪重点目標≫

① 日常ケアに留意して身体拘束を行わない代替的な方法・知識を周知し、支援方法の創意工夫に努める。

② 利用者の状態に応じ緊急やむを得ない場合の身体拘束についての検討を行い、身体拘束に対して正しい理解を深め、適切な対応・記録を行う。

≪活動計画≫

項　　目	内　　容	実施結果
1. 身体等の拘束廃止に向けた勉強会、研修会を開催する。	・全体研修会の開催。マニュアル・行動指針の周知、拘束を必要としないケアの勉強会を行う。（年２回） ・会議にて現状の振り返りを行い、現状把握と困難事例の検討会を行う。4月,7月,10月,1月（3ヵ月に１回開催） ・サービス利用者の状態を確認して緊急やむを得なく身体拘束の検討が必要な場合は、速やかに関係者を招集して委員会を開催する。（随時）	・全体研修会、特養・ユニット会議にて実施。（5月、7月） ・委員会開催時、現状の報告し、検討を実施。現在は拘束０の状況。 ・拘束の実施はなかった。他、日常のケアにおいて適正なケアであるかどうか現状の振り返り等、高齢者虐待防止検討委員会と協同で話し合うことができた。
2. 身体拘束廃止に向けた行動指針、マニュアルの見直しを行なう。	・マニュアルの見直しを行う。（6月末） ・行動指針の見直しを行う。（6月末） ・研修会・会議を通じ全職員へ伝達し内容の周知徹底を行う。	・前年度、指針・手順書の内容を継続とした。指針、マニュアルは研修会にて各職員へ配布。

≪活動反省と次年度への課題≫

・身体拘束の実施状況はなかった。

・やむを得ず拘束の実施となる場合は、速やかにその状況等を対象利用者・家族へ説明を行ない、様式及び手順に沿って取り組み記録と報告を行なう。

・次年度からは高齢者虐待防止検討委員会と合同開催し、一委員会として統合すべく取り組んでいく。

令和 7 年度　栄養管理委員会　活動報告

《活動目標》
・利用者様の食歴や身体状況、栄養価・嗜好等の個人差を考慮し、食生活を通して食の喜びや楽しみを組み込んだ食事提供を行う。

《重点目標》
1. 利用者様の食歴や身体状況、栄養価等の個人差を考慮し、食生活を通して食の喜びや楽しみを組み込んだ食事や行事食の提供に努める。
2. 季節感のある献立や、利用者様の嗜好に考慮した食事提供に努める。
3. 感染症及び食中毒等防止の為、調理現場・職員の衛生管理の徹底に努める。
4. 食器・調理器具・機器等、消耗による変色や破損の確認。入れ替え・補充等の検討を行う。又、自助具食器等を充実させ、自立摂取を支援する。
5. 非常時における BCP の見直し検討を行う。

《活動計画》

項　　目	内　　容	実施結果
1. 食事に関するサービス	1 利用者様の食歴・身体状況、嗜好等の個人差を考慮した食事の検討。 ・食生活を通して食の喜びや楽しみを組み込んだ食事や行事食の提供。 ・利用者様の身体状況に応じた栄養給与の提供。	1・2　【食の楽しみ・行事食の提供】 ・誕生日メニュー提供（毎月）実施。 ・季節毎のメニュー提供（毎月）実施。 ・オープンカフェ実施（毎週 1 回）実施。 ・ケーキバイキング実施（毎月 1 回）実施。 ・長寿を祝う会メニュー提供（9 月）実施。 ・食事摂取基準・個別栄養価の見直しを行った ・嘱託医・歯科医の指示のもと、多職種連携にて、利用者様に合う食種の検討・変更を行った。 ・次年度は、咀嚼嚥下機能等、身体状況に応じた食事形態の充実を図る。
2. 献立に関すること	2 季節感のある献立の提供。 ・利用者様の嗜好に考慮した食事提供。	
3. 衛生管理に関すること	3・感染症等食中毒防止及びまん延防止の為の情報提供。調理現場・職員の衛生管理の徹底。	3・10 月：感染症及び食中毒予防対策について、全体研修会にて情報提供を行った。 ・1 月：ユニットにて、感染症等食中毒防止の研修実施。
4. 備品に関すること	4 食器、調理器具・機器等、消耗による変色や破損の点検。入れ替え・補充等の検討。 ・自助具食器等を充実させ自立摂取を支援する	4・一部消耗によるフードプロセッサ―等の調理器具等の補充を行った。 ・厨房内機器の点検修理については、設備担当のもと、速やかに対応していただいた。
5. その他	5 非常時における BCP の見直し・検討。	5 非常時(感染症・災害等)対応の一部見直し・検討を行った。次年度継続。

令和７年度　防災・車輌の安全運行委員会　活動報告

≪活動目標≫

・防火管理業務の適正を図る。
・非常時災害対策計画書、BCP の見直しを行う
・総合防災訓練の実施、反省、改善を行う。
・全職員を対象とし、防災教育と安全運転教育を行う。
・緊急連絡網を再整備する。（随時）
・非常用物品の管理を行う。

≪活動計画≫

月	内容	実施結果
4	1 委員会活動（前年度委員による） ① 自衛消防隊の任務の確認 ② 非常時災害対策計画の見直し 2 春の交通安全 ① 新入学時期の交通安全の呼びかけ	1　4/24 開催 ① 今年度の活動内容の確認を行った。 ② 6 月の総合防災訓練の日程及び発生場所の選定を行った。 2 ① 各部署で交通安全の呼びかけを行った。
5	1 委員会活動 ① 総合防災訓練の計画 ・日程調整、実施内容の検討 ・消防署への実施計画書の提出 ・避難路、防災設備の点検 ② 非常時災害対策計画の見直し	1　5/12 開催 ① 総合防災訓練実施内容の検討を行った。 ② 実施できず。
6	1 委員会活動 ① 総合防災訓練に向けての確認 ② 地震発生想定訓練の計画日程調整、実施内容の検討 ③非常時災害対策計画の見直し	1　6/13 開催 ① 秋の総合防災訓練について確認を行った。 10 月 27 日(月)　午後から開催することとした。 ② 地震想定訓練の開催について 8 月末に開催する計画を立てた。 ③確認を行った。

	2 総合防災訓練 ① 通報、避難、消化訓練 ・日中想定(施設全体訓練) ・自動通報訓練(自動通報者への動作確認) ・関係各機関との反省会の開催	2 ① 総合防災訓練を 6 月 24 日午後 2 時 30 分から実施した。 上記の反省を委員会で行った。
7	1 委員会の活動 ① 総合防災訓練の反省 ② 非常時災害対策計画見直し 2 地震発生想定訓練の実施 ① 地震発生想定訓練の実施・日中想定(館内放送、避難誘導訓練)	1　7/17 ① 総合防災訓練の反省について行った。 ② 非常時災害対策計画の確認を行った。 ③ 地震発生想定訓練の日程について協議し、8 月 20 日 15 時から実施することとした。 2　地震発生想定訓練については、7 月は未実施。
8	1 委員会の活動 ① 地震発生想定訓練の反省 ② 非常時災害対策計画の見直し ③ 施設車輌の状況確認	1　8/28 開催 ① 地震発生想定訓練の反省は後日行う事とした。 ② 非常時災害対策計画の確認を行った。 全体研修会の資料を作成。 ③車両の状態、状況確認を実施。
9	1 委員会の活動 ① 総合防災訓練の計画 日程調整、実施内容の検討 消防署への実施計画の提出 避難路、防災設備の点検整備 ② 非常時災害対策計画の見直し	1　9/18 開催 ① 防災訓練の計画書の確認 防災訓練の日程を令和 7 年 10 月 27 日 14 時 30 分～15 時 30 分とした。 ② 実施できず。 ③ 8 月実施の地震想定訓練の反省を行った。
10	1 委員会の開催 ① 総合防災訓練に向けての確認 ② 非常時災害対策計画の見直し	1　10/16 開催 ① 総合防災訓練に向けての確認 訓練の流れについて別紙を作って配布した。 消火訓練の参加が少なくなっている為各

		部署で参加に向けた声掛けを行った。 ② 実施できず。
	2 総合防災訓練の実施 ① 通報、避難、消火訓練 夜間想定（発生場所指定） 自動通報訓練（自動通報者への動作確認） 関係各機関との反省会の開催	2 ① 総合防災訓練を 10 月 27 日実施した。 訓練後に消防署の職員と反省会を行った。
11	1 委員会の開催 ① 総合防災訓練の反省 ② 全体研修会の内容の検討 ③ 非常時災害対策計画の見直し	1　11/20 開催 ① 消防署からの総評を委員会で報告後、各部署で共有した。 ② 資料については委員会で話し合いし作成した。 ③ 実施できず。
12	1 委員会の開催 ① 全体研修会内容の確認(研修委員会と調整) ② ＢＣＰ・図上訓練の実施 ③ 防災盤の操作､防災設備の場所取り扱い ④ 交通安全に関しては各部署の会議等で呼びかけを行う ⑤ 非常時災害対策計画の見直し	1　12/18 開催 ①12 月の全体研修会で冬道運転についての研修会を実施した。 ②9 月の全体研修会で実施した。 ③防災盤の操作、防災設備の確認をした。 ④交通安全に関しては、各部署の会議で呼びかけを行った。 ⑤実施できず。
1	1 委員会の開催 ① 今年度の活動反省 ② 次年度の活動計画の検討 ③非常時災害計画の見直し	1/15 ①今年度の活動反省を行った。 ②次年度の活動計画の検討を行った。 ③実施できず。
2	1 委員会の開催 ① 今年度の活動の反省 ② 次年度の活動計画の検討 ③ 非常時災害計画の見直し	2/19 ①今年度の活動の反省行った ②次年度の活動計画の検討を行った ③実施できず

3	1 委員会の開催 ① 防災設備の点検 ② 非常時災害計画の見直し	1　3/19 開催 ①防災設備等の設置場所、設置状況の確認を行った。 ②実施できず。

＜活動反省と次年度の課題＞

・今年度は緊急時連絡網の訓練が出来ていなかったので次年度は実施する。
・非常用物品、非常用食品の期限等の確認を定期間に行わなかったので次年度は定期的に確認する。
・総合防災訓練後の消火訓練の参加者が少なくなっている為、来年度も参加の声がけを各部署で行う。
・非常時災害対策計画の見直しの回数が少なかったので次年度は実施頻度を増やす。
・今年度は全体研修会でＢＣＰ、大津波警報に関する図上訓練を実施したが、次年度は施設に関係する自然災害の図上訓練も行う。